

# 青森圏域連携中枢都市圏 第 1 期事業評価シート

連携中枢都市圏ビジョンの具体的取組（連携事業）及び担当課一覧

事業番号	事業名（青森圏域連携中枢都市圏）	事業名（青森市）	担当部局	担当課	主たる担当課	ビジョン追加年度
1	連携中枢都市圏ビジョン懇談会の運営	連携中枢都市圏推進事務（連携）	企画部	連携推進課		令和2年度
2	起業・創業等支援拠点運営事業					令和3年度
3	中小事業者ビジネスサポート事業					→ No.4に統合
4	地域企業ビジネス支援拠点運営事業	地域企業ビジネス支援拠点運営事業（連携）	経済部	しごと創造課		令和3年度
5	首都圏ビジネス交流拠点運営事業	首都圏ビジネス交流拠点運営事業（連携）	経済部	経済政策課		令和2年度
6	あおり新しい働き方支援事業（企業誘致活動）	あおり新しい働き方支援事業（連携）※企業誘致活動部分	経済部	経済政策課		令和2年度
7	企業誘致関係機関連携事業	企業誘致関係機関連携事業（連携）	経済部	経済政策課		令和2年度
8	物産振興事業	物産振興事業（連携）	経済部	経済政策課	主	令和2年度
		むつ湾広域連携事業（負担金）（連携）※産業部会部分	企画部	連携推進課		令和2年度
9	圏域の水産物の食ブランド化推進事業	ナマコの食ブランド化推進事業（連携）	農林水産部	水産振興センター		令和2年度
10	農業移住・新規就農サポート事業	農業移住・新規就農サポート事業（連携）	農林水産部	農業政策課		令和2年度
11	スマート農業普及対策事業	スマート農業普及対策事業（連携）	農林水産部	農業政策課		令和2年度
12	農業研修事業	農業研修事業（連携）	農林水産部	農業振興センター		令和2年度
13	漁業の担い手対策事業	漁業の担い手対策事業（連携）	農林水産部	水産振興センター		令和2年度
14	広域連携農業振興事業	広域連携農業振興事業（負担金）（連携）	農業委員会事務局	農業委員会事務局		令和2年度
15	東青流域林業活性化事業	東青流域林業活性化事業（負担金）（連携）	農林水産部	農地林務課		令和2年度
16	むつ湾広域連携事業（産業・観光）	むつ湾広域連携事業（負担金）（連携）※観光部会部分	企画部	連携推進課		令和2年度
17	陸奥湾沿線誘客宣伝事業	陸奥湾沿線誘客宣伝協議会（連携）	経済部	交流推進課		令和2年度
18	大学連携推進事業	大学連携推進事業（連携）	企画部	連携推進課	主	令和2年度
		学生ビジネスアイデアコンテスト開催事業（連携）	経済部	しごと創造課		令和2年度
19	地域医療支援病院の登録医療機関	事業として登録なし	市民病院	市民病院事務局総務課		令和2年度
20	在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療・介護連携推進事業（連携）	福祉部	高齢者支援課		令和2年度
21	在宅医療推進のための共同セミナー開催事業	事業として登録なし	市民病院	浪岡病院事務局		令和3年度
22	認知症高齢者対策事業	認知症高齢者対策事業（連携）	福祉部	高齢者支援課		令和2年度
23	一時預かり事業	一時預かり事業（連携）	福祉部	子育て支援課		令和2年度
24	病児一時保育事業	病児一時保育事業（連携）	福祉部	子育て支援課		令和2年度
25	東青母子保健広域ネットワーク事業	東青母子保健広域ネットワーク事業（連携）	保健部	あおり親子はぐくみプラザ		令和2年度
26	食生活改善推進員養成事業	食生活改善推進員養成事業（連携）	保健部	健康づくり推進課		令和2年度
27	高齢者等見守り体制確保事業	高齢者等見守り体制確保事業（連携）	福祉部	高齢者支援課		令和2年度
28	点訳・手話奉仕員養成事業	点訳・手話奉仕員養成事業（連携）	福祉部	障がい者支援課		令和2年度
29	手話通訳者養成研修事業	手話通訳者養成研修事業（連携）	福祉部	障がい者支援課		令和2年度
30	教科書採択事業	教科書採択事業（負担金）（連携）	教育委員会事務局	指導課		令和2年度
31	小学生芸術鑑賞教室事業	小学生演劇鑑賞支援事業（補助金）（連携）	教育委員会事務局	指導課		令和2年度
32	小・中学生安全安心対策事業	小・中学生安全安心対策事業（連携）	教育委員会事務局	指導課		令和2年度
33	心豊かな子ども読書活動推進事業	心豊かな子ども読書活動推進事業（連携）	教育委員会事務局	指導課		令和4年度
34	東青地区公民館連絡協議会事業	東青地区公民館連絡協議会事業（負担金）（連携）	教育委員会事務局	中央市民センター		令和2年度
35	図書館相互利用事業	図書館運営管理事業（連携）	教育委員会事務局	市民図書館		令和2年度
36	青森圏域市町村連携第80回国民スポーツ大会PR事業	青森圏域市町村連携第80回国民スポーツ大会PR事業（連携）	経済部	国スポ・障スポ大会推進課		令和5年度
37	東青地区中学校体育大会夏季大会開催事業	東青地区中学校体育大会夏季大会開催事業（負担金）（連携）	教育委員会事務局	指導課		令和6年度
38	東青地区中学校文化連盟活動事業	東青地区中学校文化連盟活動事業（補助金）（連携）	教育委員会事務局	指導課		令和6年度
39	あおりフィールドスタディ支援事業	あおりフィールドスタディ支援事業（補助金）（連携）	経済部	経済政策課		令和2年度
40	青森圏域重点事業要望事務	連携中枢都市圏推進事務（連携）	企画部	企画調整課		令和3年度
41	地域花いっぱいまちづくり事業	パートナーシップ花いっぱい事業（地域花いっぱいまちづくり事業）（連携）	都市整備部	公園河川課		令和4年度
42	水道事業の広域連携	事業として登録なし	水道部	水道部総務課		令和2年度
43	自主防災活動促進事業	自主防災活動促進事業（連携）	総務部	危機管理課		令和2年度
44	国土強靱化連携推進事業	国土強靱化推進事務（連携）	都市整備部	都市政策課		令和3年度
45	むつ湾広域連携事業（環境）	むつ湾広域連携事業（負担金）（連携）※環境部会部分	企画部	連携推進課		令和2年度
		むつ湾環境保全活動促進事業（連携）	環境部	環境政策課	主	令和2年度
46	協働による環境教育・環境学習事業	協働による環境教育・環境学習事業（連携）	環境部	環境政策課		令和2年度
47	森と湖に親しむ集い事業	森と湖に親しむ集い事業（連携）	都市整備部	公園河川課		令和4年度
48	汚水等処理事業	青森地域広域事務組合し尿処理事業（負担金）（連携）	環境部	清掃管理課		令和5年度
49	あおり新しい働き方支援事業（Uターン就職支援）	あおり新しい働き方支援事業（連携）※Uターン就職支援部分	経済部	経済政策課		令和2年度
50	新しい働き方担い手誘致・東青地域移住促進事業	新しい働き方担い手誘致・東青地域移住促進事業（連携）	企画部	連携推進課		令和2年度
		青森市移住促進事業（補助金）（連携）	企画部	連携推進課		令和2年度
51	消費生活相談事業	消費生活相談事業（連携）	市民部	生活安心課		令和2年度
52	東青地域男女共同参画ネットワーク事業	男女共同参画社会形成促進事業（連携）	市民部	人権男女共同参画課		令和2年度
53	成年後見制度法人後見支援事業	成年後見制度法人後見支援事業（連携）	福祉部	障がい者支援課		令和2年度
54	除排雪力向上連携ネットワーク形成事業	除排雪力向上連携ネットワーク形成事業（連携）	都市整備部	道路維持課		令和4年度
55	職員人事交流	※登録なし（派遣研修に関する事務）	企画部（総務部）	連携推進課（人件費等算出は人事課）		令和2年度
56	職員研修	必修研修に関する事務（連携）	総務部	人事課		令和2年度
57	RPA活用推進事務	RPA活用推進事務（連携）	総務部	情報政策課		令和5年度

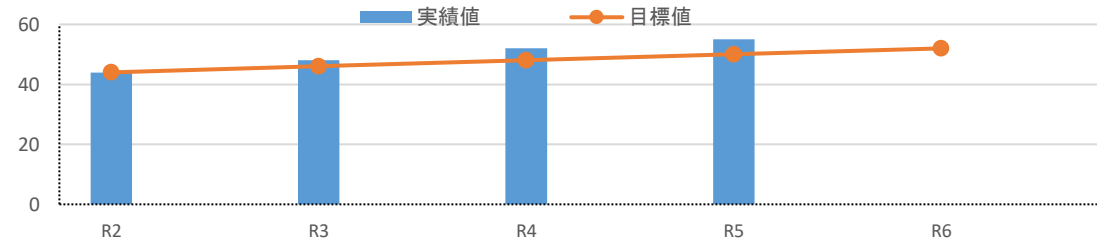
# 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
1	連携中枢都市圏ビジョン懇談会の運営	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	企画部（連携推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(1) 産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備

内容	連携効果	目標達成状況
<p>具体的取組の推進のため、圏域の産学官民の有識者で構成する青森圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会（以下「ビジョン懇談会」という）を開催して、ビジョン懇談会において有識者から意見の聴取等を行う。</p>	<p>圏域の有識者の意見を踏まえた連携中枢都市圏ビジョンの推進</p>	<p>A：順調（年度の目標値を100%以上達成）</p>

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	408	408	401	462	668	2,347	連携中枢都市圏 ビジョンに記載する 具体的取組数	目標値	44	46	48	50	52
決算額	187	253	308	232	-	980		実績値	44	48	52	55	-

役割分担	青森市	ビジョン懇談会を開催、各種連携事業の推進	進捗状況グラフ
	連携町村	懇談会の委員推薦、懇談会への参画	



成果	課題・問題点
<p>令和元年12月に、青森市と東津軽郡4町村で連携中枢都市圏の連携協約を締結、令和2年3月に青森圏域連携中枢都市圏ビジョンを策定し、将来にわたって、持続可能で発展する圏域を目指し、圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上に係る取組を進めてきた。策定当初44事業であった連携事業は令和5年度時点で55事業と増加しているところであり、圏域の結びつきがより強まっている。</p>	<p>連携中枢都市圏の特別交付税の財政措置を最大限生かし切れていない状況にあるため、さらなる事業の掘り起しを行っていく必要がある。</p>

NO.2 「起業・創業当支援拠点運営事業」

NO.3 「中小企業ビジネスサポート事業」は

NO.4 「地域企業ビジネスサポート事業」に令和3年度に統合済

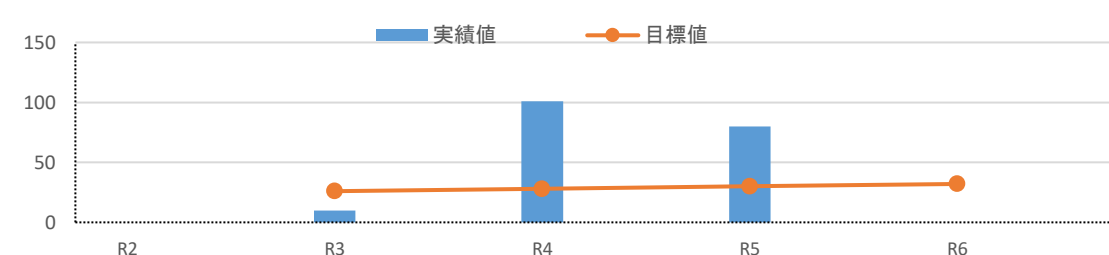
# 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
4	地域企業ビジネス支援拠点運営事業	令和 3 年度 ～ 令和 6 年度	経済部（しごと創造課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(2) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

内容	連携効果	目標達成状況
圏域の経済活性化等を図るため、ビジネス相談窓口を設置し、起業・創業から地域企業等の経営相談までワンストップで支援を行う。	起業・創業及び地域企業の成長等による圏域全体の雇用の創出	A：順調（年度の目標値を100%以上達成） A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額		30,328	41,888	42,391	42,392	156,999	創業件数	目標値		26	28	30	32
決算額		26,026	39,912	39,028	-	104,966		実績値		10	101	80	-

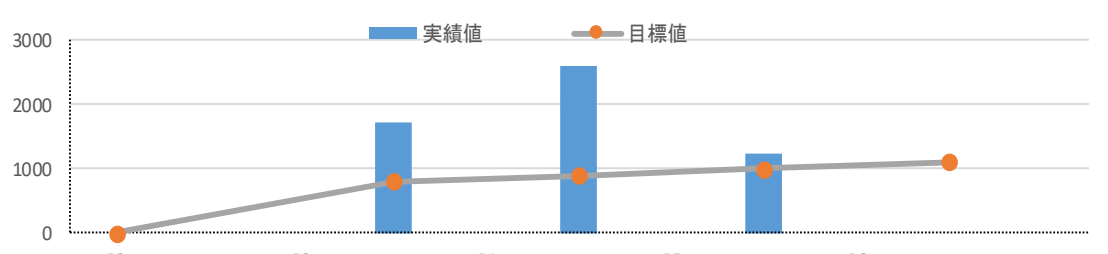
役割分担	青森市	事業企画、事業実施、各種事務手続、圏域町村との調整	進捗状況グラフ
	連携町村	事業実施、費用負担等	



成果
圏域の経済活性化等を図るため、ビジネス相談窓口である「AOMORI STARTUP CENTER」を令和3年10月にリニューアルし、経営に関する豊富な知見を有する専任のコーディネーターによるワンストップできめ細かな支援やweb面談ツールを導入するなど、より相談しやすい体制とした結果、令和5年度の創業件数は目標値の30件を上回る80件となるとともに、年間相談件数も同年度の目標値1,000件を上回る1,240件となり、起業・創業及び地域企業の成長等による圏域全体の雇用の創出に寄与するものとなった。
課題・問題点
圏域の経済活性化等を図るためには、圏域4町村と連携し、起業・創業及び地域企業の成長等につながる支援を進めていく必要がある。

基準値	年度	R2	R3	R4	R5	R6
相談窓口での年間相談件数	目標値		800	900	1,000	1,100
	実績値		1,729	2,599	1,240	-

進捗状況グラフ



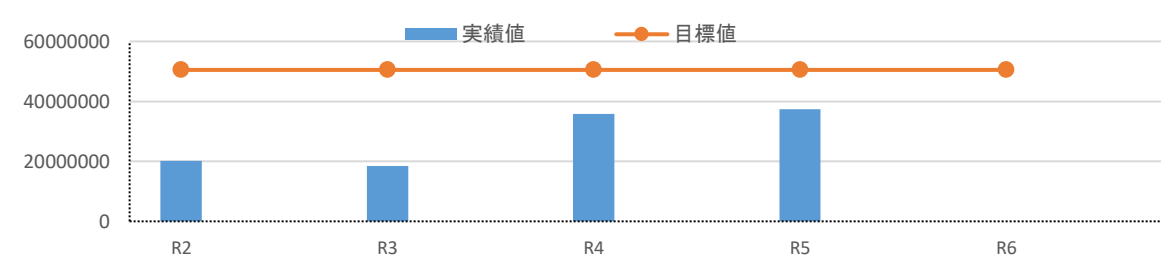
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局 (担当課)
5	首都圏ビジネス交流拠点運営事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	経済部 (経済政策課)
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(2) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

内容	連携効果	目標達成状況
首都圏に向けて積極的にシティプロモーションを展開するため、「AoMoLink～赤坂～」を拠点に、店舗内外におけるイベント機能を強化し、圏域4町村のイベントを月1回・年12回開催する。	地域資源の組み合わせによるPR強化	B: 概ね順調 (年度の目標値を概ね (75%以上) 達成)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	60,544	53,409	53,335	53,715	53,706	274,709	売上額	目標値	33,266,000	36,925,000	40,987,000	45,496,000	50,500,000
決算額	55,559	50,152	50,009	47,454	-	203,174		実績値	20,166,547	18,480,385	35,842,126	37,355,839	-

役割分担	青森市	イベント等の企画、事務手続き、関係機関等との調整	進捗状況グラフ
	連携町村	イベント等への出展、広報活動、費用負担等	



年度	実績値	目標値
R2	20,166,547	33,266,000
R3	18,480,385	36,925,000
R4	35,842,126	40,987,000
R5	37,355,839	45,496,000
R6	-	50,500,000

成果	課題・問題点
圏域4町村の事業者の販路拡大等のため、AoMoLink赤坂をはじめとした各種イベントへの出店を通じて、首都圏における圏域4町村の積極的なプロモーション活動を実施してきた結果、売上額は増加傾向にあり、令和5年度の売上額は目標値の45,496千円には届かなかったものの、37,356千円と過去最高実績となり、圏域の経済活性化に一定程度寄与するものとなった。	圏域全体の経済活性化を図るためには、圏域4町村と連携し、首都圏をはじめとする域外からの所得獲得の促進が必要となる。

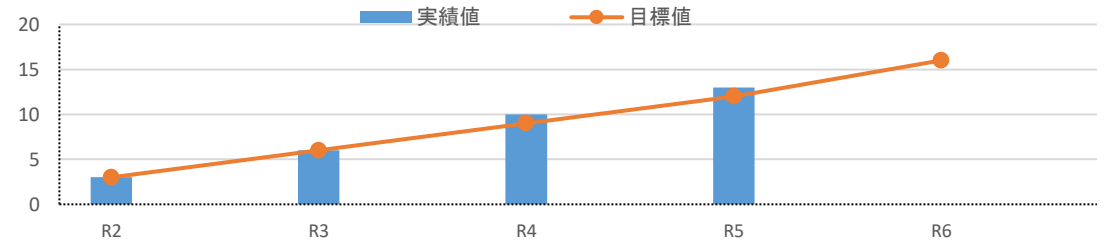
# 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局 (担当課)
6	あおり新しい働き方支援事業 (企業誘致活動)	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	経済部 (経済政策課)
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(2) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

内容	連携効果	目標達成状況
<p>○圏域への新規企業誘致やサテライトオフィスの設置のため、首都圏や中部圏等の企業へ圏域の立地環境をPRするとともに、来場者の多い展示会等や青森県が主催する「あおり産業立地フェア」に参画する。</p> <p>○既立地企業の圏域への定着や規模拡大を促進するため、定期的に既立地企業を訪問し、企業動向の把握や企業ニーズを把握する。</p>	圏域への新規企業立地に向けた効果的・効率的な誘致活動	A：順調 (年度の目標値を100%以上達成)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	1,235	1,187	1,185	1,133	1,084	5,824	圏域への立地企業数 (累計)	目標値	3	6	9	12	16
決算額	238	189	436	498	-	1,361		実績値	3	6	10	13	-

役割分担	青森市	東京ビジネスセンターの活用を含む事業実施、各種事務手続き、調整事務等	進捗状況グラフ
	連携町村	パンフレット等による企業立地環境の情報提供、地元関係機関と調整、費用負担等	



成果	課題・問題点
<p>令和2年度は「企業誘致活動事業」として、令和3年度からは「あおり新しい働き方支援事業」として圏域への新規企業誘致のため、地方への設備投資等を検討している企業に対し、企業訪問や展示会の参加など企業立地の促進活動に取り組んできた結果、令和5年度末までの圏域への累計企業立地数は目標値の12件を上回る13件となり、圏域での雇用創出に寄与するものとなった。</p>	<p>圏域での雇用創出を促進するためには、生活圈や経済圏が密接に結びつく圏域4町村と連携し、圏域全体の企業誘致活動の強化が必要となる。</p>

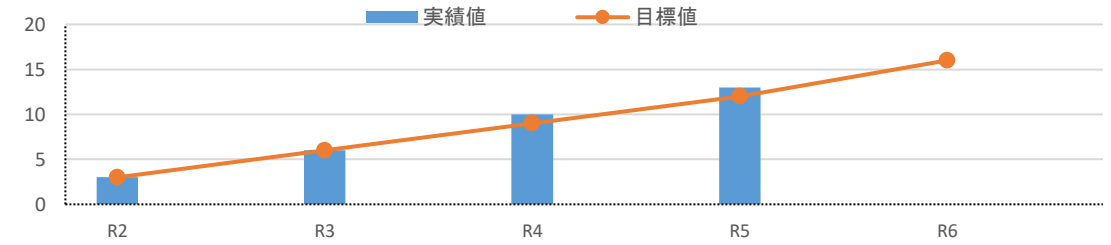
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
7	企業誘致関係機関連携事業	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	経済部（経済政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(2) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

内容	連携効果	目標達成状況
○圏域への新規企業誘致のため、東青地域全市町村及び各商工会議所や商工会が一体となった協議会を組織し圏域の企業立地の促進に向けた活動を実施する。	圏域への新規企業立地に向けた効果的・効率的な誘致活動	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	551	551	551	550	550	2,753	圏域への立地企業数（累計）	目標値	3	6	9	12	16
決算額	550	550	550	550	-	2,200		実績値	3	6	10	13	-

役割分担	青森市	事業実施、各種事務手続き、調整事務等	進捗状況グラフ
	連携町村	パンフレット等による企業立地環境の情報提供、地元関係機関と調整、費用負担等	



成果	課題・問題点
圏域への新規企業誘致のため、地方への設備投資等を検討している企業に対し、企業訪問や展示会の参加など企業立地の促進活動に取り組んできた結果、令和5年度末までの圏域への累計企業立地数は目標値の12件を上回る13件となり、圏域での雇用創出に寄与するものとなった。	圏域での雇用創出を促進するためには、生活圈や経済圏が密接に結びつく圏域4町村と連携し、圏域全体の企業誘致活動の強化が必要となる。



青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
8	物産振興事業	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	経済部（経済政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容	連携効果	目標達成状況
圏域特産品のPR及び販売促進を図るため、むつ湾フォーラムの開催に合わせ、東青地域と県内他自治体が連携した物産展等を開催する。	圏域特産品のPR及び販売促進	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	321	1,048	1,048	1,052	-	3,469	出品商品数	目標値	20	20	20	20	20
決算額	50	412	659	1,003	-	2,124		実績値	0	32	46	44	-

役割分担	青森市	物産展の開催に関する連絡及び調整	進捗状況グラフ
	連携町村	物産展の開催に関する連絡及び調整	

年度	実績値	目標値
R2	0	20
R3	32	20
R4	46	20
R5	44	20
R6	-	20

成果	課題・問題点
令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業が中止となったが、令和3年度からは圏域特産品の販売促進等を図るため、むつ湾フォーラム開催に合わせたイベントや首都圏での物産展を開催してきた結果、令和5年度の出品商品数は20品を上回る44品となっており、圏域特産品のPR等に寄与するものとなった。	イベントや物産展を実施することで、圏域特産品の認知度や魅力度の向上を図ることができたが、類似の取組が各市町村でも実施されており、当初の産業振興の目的は一定程度達成したものと考えられることから、令和5年度をもって一旦事業を終了する。

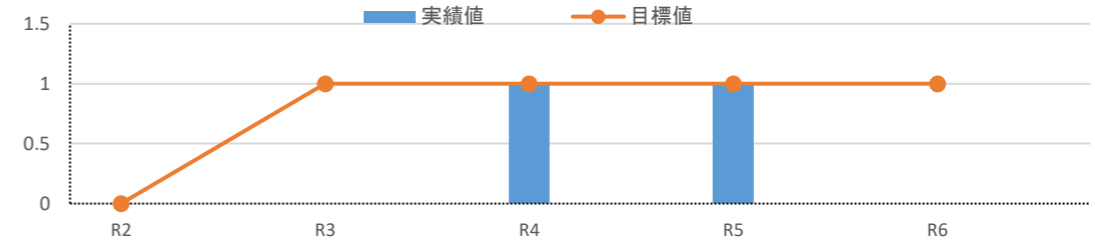
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
9	圏域の水産物の食ブランド化推進事業	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	農林水産部(水産振興センター)
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容	連携効果	目標達成状況
各市町村の水産物の高付加価値化・販路拡大を図るため、圏域内市町村が連携して水産物のブランド化に係るイベント等を実施する。	各市町村の水産物の高付加価値化及び商品の販路拡大	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	-	629	517	634	634	2,414	圏域の水産物の食ブランド化に係る事業の実施件数	目標値	0	1	1	1	1
決算額	-	0	419	240	-	659		実績値	0	0	1	1	-

役割分担	青森市	事業実施、他町村との調整	進捗状況グラフ
	連携町村	事業実施、他市町村との調整	



成果	課題・問題点
<p>○令和3年度「2021東北復興大祭典 なかの」（東京都中野区主催）に出店予定だったが、新型コロナの影響に伴う規模縮小によりPRブースが中止となったため、不参加となった。</p> <p>○令和4年度「2022なかの東北応援まつり」（東京都中野区主催）に出店し、圏域市町村の地元水産物等のPRを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日:10/28(土)・29(日)</li> <li>・PR方法:圏域特産品チラシ・観光パンフを配布するとともに、その場で実施した圏域〇×クイズの参加者(848人)に地元水産物等の試供品を配布しPRを行った。</li> </ul> <p>○令和5年度「2023なかの東北絆まつり」（東京都中野区主催）に出店し、圏域市町村の地元水産物等のPRを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日:10/28(土)・29(日)</li> <li>・PR方法:圏域特産品チラシ・観光パンフを配布するとともに、その場で実施した圏域〇×クイズの参加者(860人)に地元水産物等の試供品を配布しPRを行った。</li> </ul>	<p>圏域市町村と連携を図り、首都圏の消費者に対し地元水産物のPRを行うことは、新たな購買層の発掘につながることから、引き続き当該事業を実施していく必要があるが、連携市町村における既存の取組内容に差異があり、全ての市町村が参加する体制となっていない。</p>

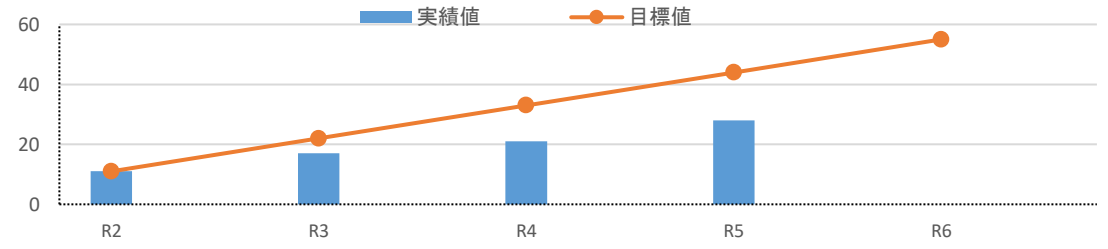
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
10	農業移住・新規就農サポート事業	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	農林水産部（農業政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容	連携効果	目標達成状況
<p>○今後の地域の担い手となり得る新規就農者の確保・育成と定着を図るため、首都圏での移住就農相談会の開催や大学への訪問の実施など農業移住・新規就農の促進に向けた情報発信を行う。</p> <p>○新規就農者を支援するため、圏域内外からの相談者に対する各種支援の窓口である「あおり就農サポートセンター」を運営する。</p>	圏域内の新規就農者の確保・育成	C：やや遅れている（年度の目標値の50～75%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	10,007	11,094	11,362	10,112	9,516	52,091	農業次世代人材投資資金（経営開始型）の新規交付対象者数（累計）	目標値	11	22	33	44	55
決算額	8,388	8,476	9,093	8,639	-	34,596		実績値	11	17	21	28	-

役割分担	青森市	事業の企画及び委託、事務手続き、関係機関等との調整	進捗状況グラフ
	連携町村	事業の広報活動（利用促進、費用負担等）	



成果	課題・問題点
<p>新規就農者の確保・育成を図るため、「あおり就農サポートセンター」を運営し、新規就農を希望する方の相談対応や新規就農者ほ場の巡回による栽培指導・経営指導を実施した。</p> <p>令和6年度の目標として、農業次世代人材投資資金の新規交付対象者（累計）を55人（毎年11人）と設定したが、令和2年度から令和5年度までの累計で28人（平均7人）となり、令和5年度目標に対し16人の減、達成率にして64%となった。</p>	<p>目標は達成していないものの、「あおり就農サポートセンター」への相談件数が年々増えていることから、圏域内の新規就農者確保・定着に向けて取組を強化していく必要がある。</p>

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
11	スマート農業普及対策事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	農林水産部（農業政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容	連携効果	目標達成状況
農作業の省力・軽労化及び生産性向上のため、ロボット技術やICT等の新技術の導入により、農業の新たなステージを切り拓くスマート農業の普及に係る講習会等を実施する。	新技術の導入による農作業の省力・軽労化及び生産性の向上	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	168	189	334	146	150	987	講習会等の開催回数	目標値	1	1	1	1	1
決算額	0	0	0	0	-	0		実績値	0	0	1	1	-

役割分担	青森市	事業の企画、事業実施、事務手続き、関係機関との調整	進捗状況グラフ																			
	連携町村	各町村における農業者の意向の把握、講習会当イベントにおける海上や新技術導入済農家の事例発表等の調整、広報活動、費用負担等	<p>進捗状況グラフのデータ:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			年度	目標値	実績値	R2	1	1	R3	1	1	R4	1	0	R5	1	1	R6	1
年度	目標値	実績値																				
R2	1	1																				
R3	1	1																				
R4	1	0																				
R5	1	1																				
R6	1	1																				

成果	課題・問題点
令和2、3年度はコロナ禍により本事業に位置付けられた講習会等は開催に至らなかったものの、令和4年度からは年度内1回、普及に向けた取組みとして成果報告会を開催し、令和4年度52名、令和5年度50名の延べ102名が参加した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スマート農業機器の技術進歩と多様化が進んでいるため、引続き講習会等の実施により普及啓発を図る必要がある。</li> <li>○現就農者のみならず、非就農者へスマート農業技術を紹介する機会を設け、次の担い手確保に活かすことも必要となる。</li> </ul>

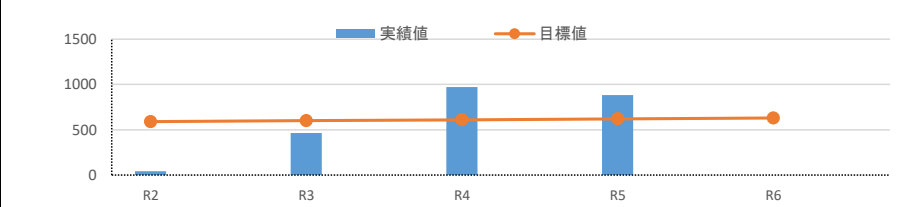
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
12	農業研修事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	農林水産部（農業振興センター）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容	連携効果	目標達成状況
<p>○新規就農者を確保するため、青森市農業振興センターにおいて、広く研修生を受け入れ、農業実習や講義による研修を行う。</p> <p>○農業生産工程管理（GAP）の指導員資格を取得した青森市職員が圏域の農業者に講習会等で情報提供を行うとともに、農業振興センターを実践農場としてGAPに取り組み、GAP取得を目指すかたを巡回指導する。</p>	農業者の経営安定化及び圏域の新規就農者確保	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	400	426	120	297	289	1,532	講習会等の参加者	目標値	590	600	610	620	630
決算額	0	108	119	30	-	257		実績値	41	463	972	883	-

役割分担	青森市	事業の企画、事業実施、事務手続き、関係機関との調整	連携状況グラフ
	連携町村	広報活動及び費用負担	



成果	課題・問題点
<p>新型コロナウイルスの影響により、令和2年度には多くの講習会を中止したため参加者数が激減し、令和3年度には新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに基づき開催（3密回避、手指消毒、マスク着用等）したが、目標値を下回った。令和4年度以降は開催回数を増加したこともあり、目標値を上回る多くの参加者への講習が実施できている。</p>	<p>連携町村からの講習会参加者数が年度によりバラツキがある（R2:1人、R3:85人、R4:91人、R5:15人）が、園芸講習会や野菜づくり基礎講座などの本市での講習会の開催情報について継続して周知し、より多くのかたが講習会に参加できるよう取り組む必要がある。</p>

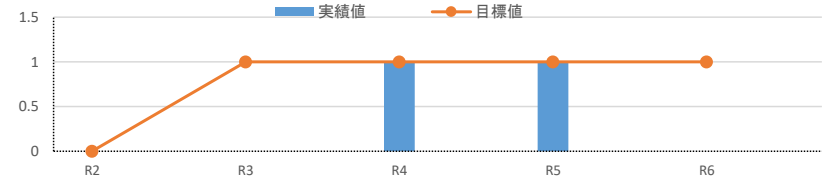
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局(担当課)
13	漁業の担い手対策事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	農林水産部(水産振興センター)
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容	連携効果	目標達成状況
<p>○漁業の担い手対策のため、若手を中心とした漁業従事者の研修活動等を支援する。</p> <p>○将来の担い手を発掘するため、小学生等へのホタテガイ作業体験やワカメ養殖体験等の漁業体験学習を通じて、漁業への関心を高める。</p>	<p>○圏域の漁業就業者に必要な技能取得及び資格取得の促進</p> <p>○漁業体験学習を通じた将来の担い手の発掘</p>	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	-	241	142	100	128	611	担い手対策事業の 実施件数	目標値	0	1	1	1	1
決算額	-	0	0	64	-	64		実績値	0	0	1	1	-

役割分担	青森市	事業主体である青森市漁業研究リーダー会と連携（県漁協青年部協議会の場を活用）して担い手対策事業を実施	進捗状況グラフ
	連携町村	費用負担	



成果	課題・問題点
<p>○令和3年度水産教室(開催場所：水産総合研究所 8/30・9/8実施予定)は、新型コロナの影響に伴い、開催を中止とした。</p> <p>○令和4年度水産教室(開催場所：水産総合研究所)を実施。水産総合研究所所員を講師として、圏域町村児童計49人を対象に、地元の家や漁業への関心を高めることを目的とした水産教室を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9/7 今別町立今別小5年生9人・外ヶ浜町立蟹田小5年生22人</li> <li>・9/20 蓬田村立蓬田小5年生18人 ※9/7・9/11計49人</li> </ul> <p>※9/20実施予定の青森市立北小学校は、学校の都合により不参加。</p> <p>○令和5年度水産教室(開催場所：浅虫水族館)を実施。浅虫水族館職員を講師として、圏域町村児童計71人を対象に、地元の家や漁業への関心を高めることを目的とした水産教室を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9/7(外ヶ浜町立蟹田小5年生25人)</li> <li>・9/11(今別町立今別小5年生15人・蓬田村立蓬田小5年生17人・青森市立北小5年生14人)</li> </ul> <p>※計71人参加</p>	<p>小学生等の子ども達に対し、地元の家や漁業への関心を高めるための取組を行うことは、圏域における5年後～10年後の漁業の担い手発掘につながることから、引き続き当該事業を実施していく必要があるが、連携市町村における既存の取組内容に差異があり、全ての市町村が参加する体制となっていない。</p>

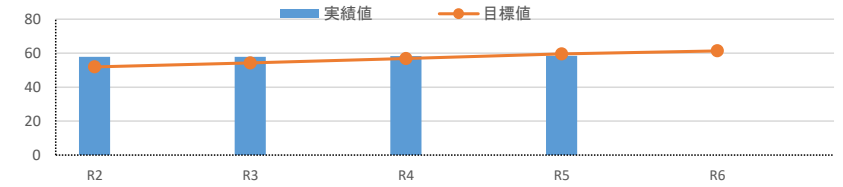
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
14	広域連携農業振興事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	農業委員会事務局
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容	連携効果	目標達成状況
<p>農業者の地位向上及び地域農業の振興に向け、他市町村農業委員会及び一般社団法人青森県農業会議と連携した取組を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域農業者の地位向上</li> <li>農業振興のための効果的な事業展開</li> </ul>	B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	1,997	1,965	1,776	1,647	1,647	9,032	農地利用集積率	目標値	51.9	54.2	56.8	59.5	61.3
決算額	1,769	1,965	1,776	1,494	-	7,004		実績値	57.8	57.9	58.3	58.4	-

役割分担	青森市	事業の運営、諸事務手続き、関係機関等との調整	進捗状況グラフ
	連携町村	農政施策推進に向けた協力、費用負担等	



成果	課題・問題点
<p>青森市、平内町、外ヶ浜町、今別町、蓬田村の農業委員会で構成する「東青地区農業委員会連絡協議会」は、県全体の農業委員会の取りまとめ役である「一般社団法人青森県農業会議」と連携し、毎年、県、国及び県選出国会議員への要望・要請活動を行い、農業者の地位向上と地域農業の振興に努めてきた。</p> <p>農地利用集積率も年々向上しており、圏域の結びつきがより強まっているところである。</p>	<p>農用地利用集積率の実績値は、令和2年度から令和4年度までは目標値を上回っていたが、令和5年度は下回ったことから、今後、さらなる向上に努める必要がある。</p>

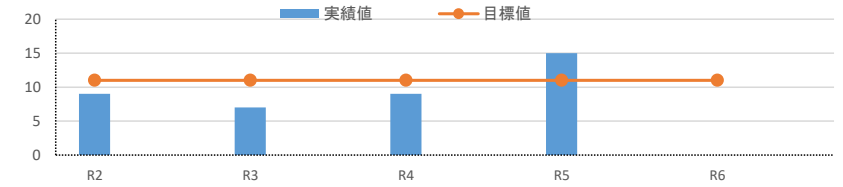
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
15	東青流域林業活性化事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	農林水産部（農地林務課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容	連携効果	目標達成状況
林業振興のため、県産材利用普及啓発活動、山火事防止活動、森林施業の集約化に向けた取組を行う。	林業及び流通業の活性化による産業振興	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	299	299	299	299	299	1,495	普及啓発活動数及び 研修会等開催回数	目標値	11	11	11	11	11
決算額	299	299	299	299	-	1,196		実績値	9	7	9	15	-

役割分担	青森市	各種活動・研修会に対する連携、費用負担	進捗状況グラフ
	連携町村	各種活動・研修会に対する連携、費用負担	



成果	課題・問題点
事業実施主体である青森県が中心となって、木工教室や林業体験活動など気軽に参加できる普及啓発活動及び研修会等を4年間で延べ40件（令和2年度：9件、令和3年度：7件、令和4年度：9件、令和5年度：15件）開催したことにより、圏域住民に林業に親しむ機会を提供することができた。	今後も少子高齢化と人口減少の加速が見込まれる中で、新規就業者を主体とした林業労働力の確保・育成に向けた取組を進めるとともに、スマート林業の普及・定着による作業の効率化・安全性の向上を図ることで、持続可能な林業を推進していく必要がある。

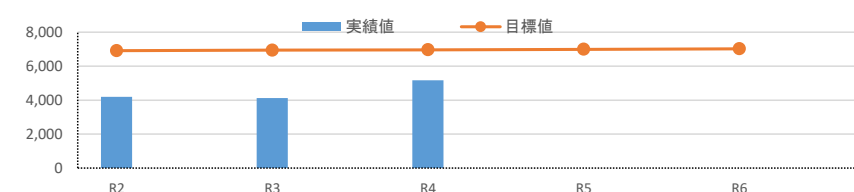


青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
16	むつ湾広域連携事業（負担金）（連携）※観光部会部分	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	企画部（連携推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(4) 戦略的な観光施策の展開

内容	連携効果	目標達成状況
<p>○産業及び観光振興のため、陸奥湾の自然や資源を活かした観光コンテンツの造成等を図る。</p> <p>○圏域特産品の販路拡大に向けた共同プロモーションを検討する。</p>	圏域の観光振興及び圏域産品の販路拡大	—：検討段階の事業

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	37,648	5,109	2,743	2,758	-	48,258	観光入込客数 (延べ人数) (単位：千人)	目標値	6,911	6,938	6,965	6,992	7,019
決算額	12,656	1,916	1,820	1,457	-	17,849		実績値	4,187	4,122	5,170	集計中	-

役割分担	青森市	事業の企画、実施、事務手続き、関係機関との調整	進捗状況グラフ	
	連携町村	事業企画、実施、広報活動、費用負担		

成果	課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ湾広域連携協議会の観光振興の取組として、令和4年度及び令和5年度において、以下の2事業を実施。</li> <li>・陸奥湾を囲む半島をコースでつなぎ、それぞれのコースの観光資源（景観、温泉、自然、食）を楽しみながら沿岸市町村をリレーするウォーキングイベントむつONEリレーウォークを開催。</li> <li>・むつ湾一周サイクリングコース（約270km）を自転車で巡るむつ湾サイクルロゲイニングを開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルロゲイニング・リレーウォークともにコースが確立され、各自で周遊観光が可能になり、類似の取組が各市町村や民間でも実施されていることから、当初の目的は一定程度達成したものと考えられることから、令和5年度をもって事業を終了。</li> <li>・参加者が比較的、県内在住者に偏っており、県外在住者の取り込みが課題。</li> <li>・サイクルロゲイニングはホームページや観光PR事業、民間イベントなどでむつ湾一周サイクリングコースや県内ペダルレスト設置場所の情報提供、沿岸市町村の情報発信を行っていく。</li> <li>・リレーウォークについては令和2年に作成したむつONEトレイルルートガイドマップをウォーキングイベントや観光PR事業等で配布などにより情報発信をしていく。</li> </ul>

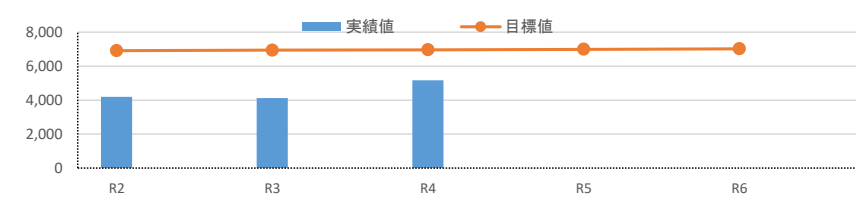
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
17	陸奥湾沿線誘客宣伝事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	経済部（交流推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(4) 戦略的な観光施策の展開

内容	連携効果	目標達成状況
陸奥湾沿岸の観光産業の活性化のため、鉄路を活用した誘客宣伝活動を実施する。	圏域の認知度向上及び観光入込客数の増加	—：検討段階の事業

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	320	320	320	320	320	1,600	観光入込客数 (延べ人数) (単位：千人)	目標値	6,911	6,938	6,965	6,992	7,019
決算額	320	0	320	320	-	960		実績値	4,187	4,122	5,170	集計中	-

役割分担	青森市	イベントやキャンペーンでのPR	進捗状況グラフ
	連携町村	イベントやキャンペーンでのPR	



成果	課題・問題点
<p>陸奥湾沿線の誘客促進を図るため、旅のきっかけを提供するサイト「*and trip.」での特集記事の制作や、首都圏におけるイベントでのブース出展等プロモーション活動を実施してきた結果、新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の低下から、令和4年度の圏域5市町村の観光入込客数は目標値の6,965千人には届かなかったものの、5,170千人と回復傾向となっており、圏域の誘客促進に寄与するものとなった。</p>	<p>陸奥湾沿岸の観光産業の活性化を図るためには、関係自治体や関係団体等と連携し、圏域全体での誘客プロモーションの強化が必要となる。</p>

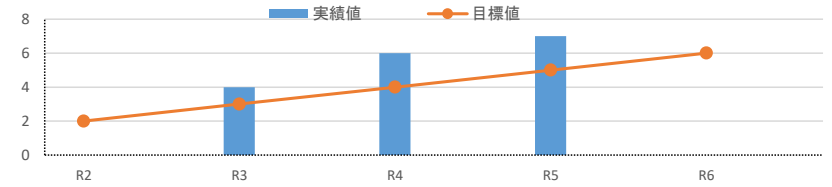
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
18	大学連携推進事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	企画部（連携推進課）
		役割	連携施策
		高次の都市機能の集積・強化	(1) 高等教育・研究開発の環境整備

内容	連携効果	目標達成状況
<p>○圏域の地域づくりを推進するため、大学が有する豊富な知識、技術、人材、機能などを活用し、圏域各地で公開講座を開催する。</p> <p>○学生等の起業マインドの醸成を図るため、市内大学等の学生によるビジネスアイデアコンテスト「Aomori Business Challenge GATE」を開催し、圏域を対象としたビジネスアイデアの募集を行う。</p>	圏域住民の高等教育機会の充実や大学の参画による地域活性化	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	553	685	825	951	855	3,869	公開講座等開催回数/年間	目標値	2	3	4	5	6
決算額	0	581	643	639	-	1,863		実績値	0	4	6	7	-

役割分担	青森市	市内6大学・短期大学の公開講座等の圏域への情報提供、圏域各地での公開講座開催支援のため主体的な事業実施、各種事務手続、圏域町村及び関係機関等との調整	進捗状況グラフ
	連携町村	制度の広報活動（利用促進、参加呼びかけ等）、費用負担等	



成果	課題・問題点
<p>・公開講座の開催は、学生のみならず、圏域住民にも学習の機会を提供することにより、教養の向上、大学と社会の連携強化、社会問題等の解決に向けた意識の醸成に資する取組となっている。</p> <p>・市内大学等の学生によるビジネスアイデアコンテストについては、学生等が地域の課題解決等を対象としたビジネスアイデアを考え、発表する機会を通じて、起業マインドやチャレンジマインドの醸成が図られている。</p>	引き続き、大学の幅広い知見を活かした地域課題の解決や将来の地域の担い手となる学生の育成を図っていく必要がある。

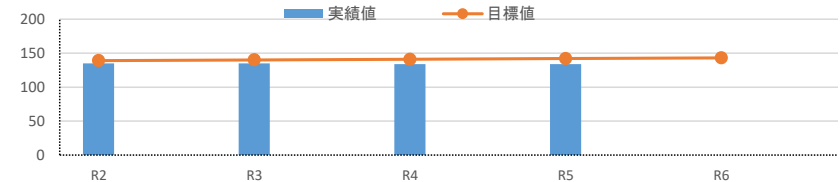
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
19	地域医療支援病院の登録医療機関	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	市民病院事務局（総務課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
地域医療体制の充実を図り、質の高い医療を提供するため、地域の医療従事者に対する研修及び医療機器の共同利用などを実施する。	医療提供体制の維持・向上	B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	1,398	1,257	1,131	1,081	1,132	5,999	登録医療機関数	目標値	139	140	141	142	143
決算額	165	770	770	545	-	2,250		実績値	135	135	134	134	-

役割分担	青森市	事業の実施	進捗状況グラフ
	連携町村	制度の広報活動	



成果	課題・問題点
<p>地域の医療機関に対する訪問活動、市民病院について詳しく紹介する冊子「地域医療連携のご案内」の作成・送付を通して医療機関登録の声かけを行うとともに、登録医療機関に対しては当院の診療科紹介チラシを送付し、医療提供体制の維持・向上に努めている。</p> <p>令和5年度の実績としては、新規登録が1機関、閉院が1機関であった。</p> <p>東青地区における医療機関数が減少傾向ではあるが、今後も働き掛けを行い、登録機関数の維持・増加に努めてまいる。</p>	<p>東青地区における医療機関数が減少傾向であり、それに伴い登録医療機関が減少傾向であることから、現在連携できていない医療機関や新規開院した医療機関に継続した働きかけを行い登録医療機関数の維持・増加をしていく必要がある。</p>

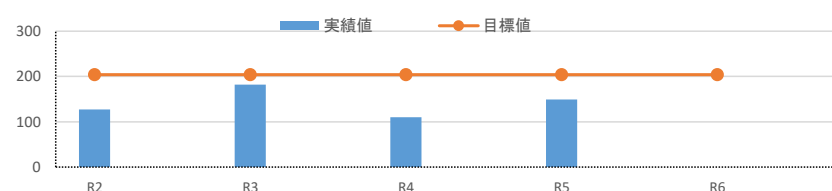
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
20	在宅医療・介護連携推進事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部（高齢者支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
在宅医療及び介護を一体的に提供できる圏域内の体制を構築するため、「在宅医療・介護連携推進会議」を開催するとともに、在宅医療や介護の関係者による研修を実施する。	圏域の住民に対する在宅医療・介護の一体的な提供	C：やや遅れている（年度の目標値の50～75%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	215	290	289	289	360	1,443	研修参加者	目標値	204	204	204	204	204
決算額	30	110	74	170	-	384		実績値	127	182	110	149	-

役割分担	青森市	多職種協働の研修会の企画及び運営等	進捗状況グラフ
	連携町村	周知活動	



年度	実績値	目標値
R2	127	204
R3	182	204
R4	110	204
R5	149	204
R6	-	204

成果	課題・問題点
医療・介護等の多職種連携を図るための研修会について、会場参加及びオンライン参加、オンデマンド配信など開催方法を工夫して開催したことにより、参加者数が増加した。	研修参加者が目標値に達していないことから、連携町村とも情報交換しながら、より多くの医療、介護関係者が参加する研修会を企画していく必要がある。

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
21	在宅医療推進のための共同セミナー開催事業	令和 3 年度 ~ 令和 6 年度	市民病院（浪岡病院事務局）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
それぞれの地域で質の高い在宅医療を患者や家族に提供するため、圏域の公立病院等で連携し、在宅医療に関する基調講演会などを開催する。	在宅医療の課題や情報共有、助言及び支援などの連携体制の構築	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額		400	400	400	400	1,600	セミナー参加者数	目標値		50	70	90	100
決算額		400	379	396	-	1,175		実績値		166	152	94	-

役割分担	青森市	セミナー等の企画及び運営等	進捗状況グラフ
	連携町村	事業への参加、協力、周知活動	

年度	実績値	目標値
R2	0	0
R3	166	50
R4	152	70
R5	94	90
R6	-	100

成果	課題・問題点
<p>在宅医療に取り組む病院間で、課題や情報の共有を図るとともに、課題解決に向けて助言し、支援するなど連携体制の構築を図り、それぞれの地域で質の高い在宅医療を患者や家族に提供することを目的に、令和5年度は、12月5日（火）浪岡中央公民館において開催し、94名の方に参加いただいた。</p> <p>当日は、「生き方・逝き方に向き合う～スピリチュアルケアとは～」と題し、非営利一般社団法人大慈学苑代表玉置妙憂氏から基調講演をいただくとともに圏域の課題について助言いただいた。</p>	<p>参加者数が伸び悩んでいることから、開催に係る周知を強化するため、講師や会場について調整を図り、目標値の達成に向け、検討を行っていく必要がある。</p>

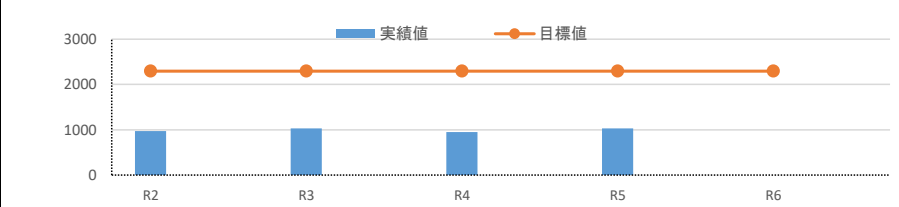
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
22	認知症高齢者対策事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	高齢者支援課
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を構築するため、「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症の知識等の普及啓発を行う。	圏域での認知症に対する理解の促進	D：遅れている（年度の目標値の50%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	424	388	466	488	600	2,366	サポーター養成数	目標値	2,294	2,294	2,294	2,294	2,294
決算額	102	176	210	357	-	845		実績値	973	1,031	949	1,028	-

役割分担	青森市	市主催の認知症サポーター養成講座及び認知症講座での町村住民の受講受入	進捗状況グラフ
	連携町村	広報活動、教材費の負担	



年度	実績値	目標値
R2	973	2,294
R3	1,031	2,294
R4	949	2,294
R5	1,028	2,294
R6	-	2,294

成果	課題・問題点
令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを受け、各地域包括支援センター及び市主催で行う認知症サポーター養成講座は平時の開催に戻りつつあり、サポーター養成数は前年度から微増している。	サポーター養成数が目標値に達していないことから、認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターの啓発等を行い、サポーター養成講座の開催へつなげていく必要がある。

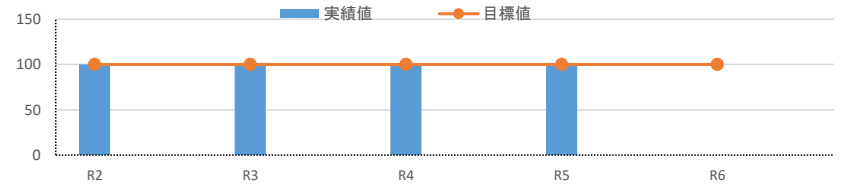
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
23	一時預かり事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部（子育て支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
子育て支援のため、通院等の突発的な事情等により一時的に家庭での保育が困難となった場合に、圏域の保育所等で乳幼児を相互に受け入れる。	保護者の育児に対する心理的・身体的負担軽減及び安心して生み育てる環境の形成	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	136,088	136,586	137,693	133,228	109,863	653,458	希望者が利用できた割合	目標値	100	100	100	100	100
決算額	120,155	116,294	118,772	120,192	-	475,413		実績値	100	100	100	100	-

役割分担	青森市	事業実施、保育所等への協力依頼、制度周知	進捗状況グラフ
	連携町村	事業実施、保育所等への協力依頼、制度周知	



成果	課題・問題点
令和5年度で延べ82,814人の児童を受け入れたことにより、保護者の就労及び子育ての両立を図ることができた。なお、連携中枢都市圏域内町村の延べ利用児童数は0人だった。	全ての利用希望者が利用できており、課題・問題点は特になく、引き続き、現状のサービスが維持できるよう努める。



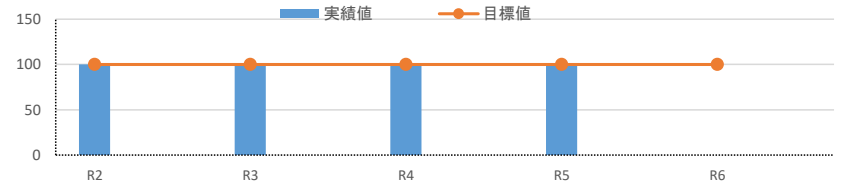
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
24	病児一時保育事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部（子育て支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
子育て支援のため、小学校3年生以下の病気の児童を、保護者が就労等の理由により自宅で保育が困難な場合に、一時的に青森市の保育所等で受け入れる。	病児にかかる保護者の心理的負担を軽減及び安心して生み育てる環境の形成	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	39,804	40,699	40,379	41,419	43,180	205,481	希望者が利用	目標値	100	100	100	100	100
決算額	39,348	40,087	39,770	40,198	-	159,403	できた割合	実績値	100	100	100	100	-

役割分担	青森市	事業実施（保育所等へ委託）	進捗状況グラフ
	連携町村	制度周知、費用負担、医療機関への協力依頼	

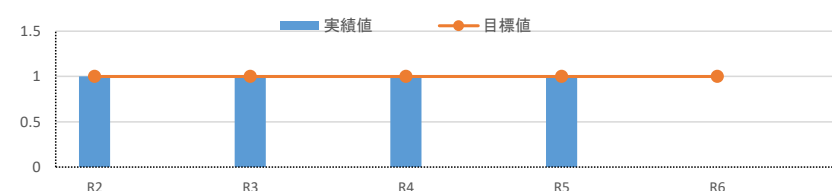


成果	課題・問題点
令和5年度で延べ868人の児童を受け入れたことにより、仕事などでやむを得ず病児を預けなければならない保護者のセーフティネットとしての役割を果たした。なお、連携中枢都市圏内町村の延べ利用児童数は0人だった。	全ての利用希望者が利用できており、課題・問題点は特にないことから引き続き、現状のサービスが維持できるよう努める。

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
25	東青母子保健広域ネットワーク事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	保健部（あおり親子はぐくみプラザ）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況		
圏域の母子保健の向上を図り、切れ目のない支援を実施するため、産科医療機関等を構成員とし、健康データや事例等について情報を共有する「東青母子保健広域ネットワーク会議」を開催する。							圏域の母子健康に関する医療レベルの維持・向上及び切れ目のない支援の強化				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）		
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	167	146	132	130	130	705	会議開催回数	目標値	1	1	1	1	1
決算額	81	3	60	72	-	216		実績値	1	1	1	1	-

役割分担	青森市	事業の実施、連携強化	<p>今別町からの成果・期待コメント</p> <p>東青圏域の母子保健に関する現状や課題、取組状況等を情報共有することができ、また、産科や精神保健等の医療機関からの御意見をいただける貴重な機会となっている。</p>	進捗状況グラフ								
	連携町村	事業の実施、連携強化										

成果	課題・問題点
<p>本事業開始時に実施期間を令和2年度から令和6年度までの5年間とし、東青地域の課題として、特に精神的問題を抱える妊産婦に対する支援のあり方を重要な課題と捉えながら、切れ目のない支援方法について協議してきた。会議の中では5市町村の取組や事例の共有、パンフレットの作成等を通し、行政と産科・小児科・精神科との連携が強化された。</p>	<p>圏域の母子保健に関する課題や情報等については、県が東青地域保健所管内の保健師及び医療機関を対象に開催している「東地方保健所母子保健ネットワーク会議」等の場を活用し、共有することを検討している。</p>

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
26	食生活改善推進員養成事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	保健部（健康づくり推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
圏域住民の食生活改善を図ることを目的に、地域で食生活改善のボランティア活動ができる食生活改善推進員の養成講座を開催する。	圏域住民の食生活改善	C：やや遅れている（年度の目標値の50～75%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	148	160	160	160	176	804	入会者数	目標値	15	15	15	15	15
決算額	132	0	137	126	-	395		実績値	17	0	10	10	-

役割分担	青森市	事業の実施	連携状況グラフ
	連携町村	周知活動	

年度	実績値	目標値
R2	17	15
R3	0	15
R4	10	15
R5	10	15
R6	0	15

成果	課題・問題点
講座では、居住している市町村に関わらず受講者同士の交流が見られ、同じ食生活改善推進員となる仲間としてのつながりができている。また、食生活改善推進員養成講座の中で開催している特別公開講座では、既会員や青森圏域の住民の参加もあり、既会員への勉強の場の提供や住民の食からの健康づくりへの興味・関心を高めることにつながっている。	入会者数が目標に達していない状況にあるため、さらなる事業の周知や講座が受講しやすくなる工夫を行っていく必要がある。

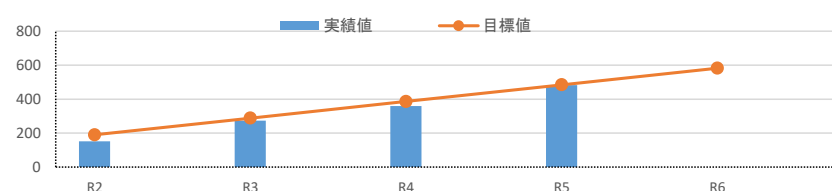
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
27	高齢者等見守り体制確保事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部（高齢者支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
<p>○行方不明高齢者等の早期発見のため、警察から提供された情報について、青森地域広域事務組合消防本部への提供や地域の協力者へのメールマガジン等での発信を行う。</p> <p>○帰宅困難になるおそれのあるかたの緊急連絡先などを事前に登録し、警察等と情報共有するとともに、登録番号等を印字したシールを配布する。</p>	圏域内での情報共有による行方不明高齢者等の早期発見及び見守り体制の強化	B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	294	102	133	109	294	932	登録者数	目標値	190	288	386	484	582
決算額	297	48	68	55	-	468		実績値	151	273	359	482	-

役割分担	青森市	市町村間における体制の構築（SOSネットワーク）及び関係者に対する、みまもりシール等の情報提供	進捗状況グラフ
	連携町村	見守りに関する地域への呼びかけ、協力者の確保 みまもりシールの配布	



年度	実績値	目標値
R2	151	190
R3	273	288
R4	359	386
R5	482	484
R6	-	582

成果	課題・問題点
<p>高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、市町村間における体制の構築（SOSネットワーク）やみまもりシールの登録呼びかけを行い、圏域内での情報共有による行方不明高齢者等の早期発見及び見守り体制の強化を図ってきた。</p> <p>令和5年度においては、SOSネットワークで行方不明者の情報発信を行い、連携町村で発見された。また、令和5年度末時点における「みまもりシール登録者数」については、482人（青森市471人、平内町3人、今別町4人、外ヶ浜町1人、蓬田村3人）となっている。</p>	<p>「みまもりシール登録者数」が目標値を概ね達成したものの、引き続き、住民や関係者等へ周知・呼びかけを行っていく必要がある。</p>

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
28	点訳・手話奉仕員養成事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部（障がい者支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
視覚障がい、聴覚障がいのあるかたの福祉増進と社会参加促進のため、意思・情報伝達手段である点訳及び手話教室を開催し、奉仕員を養成する。	障がいのあるかたの住みよい環境を形成	A：順調（年度の目標値を100%以上達成） B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	750	769	769	769	769	3,826	養成者数 (点訳奉仕員)	目標値	7	7	7	7	7
決算額	750	749	749	750	-	2,998		実績値	2	1	6	7	-

役割分担	青森市	研修の開催	連携状況グラフ
	連携町村	周知活動	

年度	実績値	目標値
R2	2	7.5
R3	1	7.5
R4	6	7.5
R5	7	7.5
R6	-	7.5

指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
養成者数 (手話奉仕員)	目標値	17	17	17	17	17
	実績値	15	12	13	15	0

成果	進捗状況グラフ																		
令和2年より東津軽郡4町村民への受講者募集を開始し、令和4年度には手話奉仕員養成事業に平内町と蓬田村より1名ずつ、点訳奉仕員養成事業に蓬田村より1名が受講した。	<table border="1"> <caption>進捗状況グラフデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>13</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>0</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	R2	15	17	R3	12	17	R4	13	17	R5	15	17	R6	0	17
年度		実績値	目標値																
R2	15	17																	
R3	12	17																	
R4	13	17																	
R5	15	17																	
R6	0	17																	
課題・問題点																			
今後の周知、養成者数の増加が課題となっている。																			

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
29	手話通訳者養成研修事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部（障がい者支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
聴覚障がいのあるかたや音声・言語機能障がいのあるかたの福祉増進と社会参加促進のため、身体障がい者福祉や手話通訳者の役割等の知識と手話通訳に必要な手話語彙、手話表現技術等を習得した手話通訳者を養成する。	障がいのあるかたの住みよい環境を形成	B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	1,892	2,041	2,041	2,041	2,041	10,056	養成者数	目標値	12	13	15	16	17
決算額	1,892	2,010	2,010	1,888	-	7,800		実績値	9	6	3	13	-

役割分担	青森市	研修の開催	連携状況グラフ
	連携町村	周知活動	

成果	課題・問題点
令和4年度に手話奉仕員養成事業を受講した蓬田村在住者1名が、令和5年度の手話通訳者養成研修に進み、受講した。	今後の周知、養成者数の増加が課題となっている。

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
30	教科書採択事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局（指導課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
<p>原則4年に1度</p> <p>教科書採択を円滑に行うため、圏域内の小・中学校用教科用図書の調査研究及び選定を合同で行う。</p>	合同開催による効率化（経費負担の軽減）	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	1,228	-	-	1,430	1,481	4,139	協議会開催回数	目標値	2	-	-	2	2
決算額	262	-	-	1,429	-	1,691		実績値	2	-	-	2	-

役割分担	青森市	「東青地区教科用図書採択協議会」で教科書図書を選定	連携状況グラフ
	連携町村	費用負担	

年度	実績値	目標値
R2	2	2
R3	0	2
R4	0	2
R5	2	2
R6	0	2

成果	課題・問題点
<p>東津軽郡においては、各町村に教育専門職である指導主事が不在であることや学校数の減少等により教職員数が減少していることから、教科書採択における調査研究等を行う各教科の指導主事がある本市と連携することにより、採択業務を円滑に行うことができた。</p>	<p>原則4年に1度の採択業務となることから、各市町村において採択業務に関わる引継ぎを確実にを行う必要がある。</p>

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
31	小学生芸術鑑賞教室事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局（指導課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
人間性豊かな児童を育成するため、圏域の小学生を対象とした「演劇鑑賞教室」を開催する。	人間性豊かな圏域児童の育成	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	190	190	190	4,618	4,551	9,739	圏域内小学校の利 用割合	目標値	100	100	100	100	100
決算額	0	0	0	3,873	-	3,873		実績値	0	98	100	100	-

役割分担	青森市	事業の実施	連携状況グラフ
	連携町村	関係団体との調整、事業の周知	

年度	実績値	目標値
R2	0	100
R3	100	100
R4	100	100
R5	100	100
R6	100	100

成果	課題・問題点
本事業の実施により、圏域内の小学生に本物の舞台芸術を鑑賞できる機会を一律に公平に提供することができるため、引き続き事業を実施する。	バス代が年々高騰している状況である。



青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
32	小・中学生安全安心対策事業	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	教育委員会事務局（指導課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
情報モラルに関する教育の普及を図るため、青森市教育研修センターにおいてICT教育活用研修講座（情報モラル）を開催する。	圏域内での情報モラルに関する教育の普及啓発促進	B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	-	4,381	4,564	4,691	5,940	19,576	養成講座	目標値	68	68	68	68	68
決算額	-	1,582	3,225	4,390	-	9,197	参加者数	実績値	0	67	64	67	-

役割分担	青森市	事業の実施	連携状況グラフ
	連携町村	周知活動	

年度	実績値	目標値
R2	0	68
R3	67	68
R4	64	68
R5	67	68
R6	-	68

成果	課題・問題点
<p>専門的な知識・技能を持つネットパトロール員2名がネットパトロールによる圏域町村各学校のSNSへの書き込みの検索を行うとともに、必要に応じて、情報モラル教育指導者養成講座及び学校への出前講座に対応して情報モラルに関する教育の普及啓発を東郡各町村を含めて行っている。</p> <p>また、各市町村の実態に即したネットトラブルへの対応策やその予防策について具体的に研修できるようなプログラムを企画し、運営することによって情報モラルに関する教育の普及啓発が促進している。（令和2年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、情報モラル教育指導者養成講座は中止。）</p>	<p>情報モラル教育指導者養成講座への圏域町村各学校関係者の出席率が低調（12校中5校）であることから、積極的な参加を求めていく必要がある。</p>

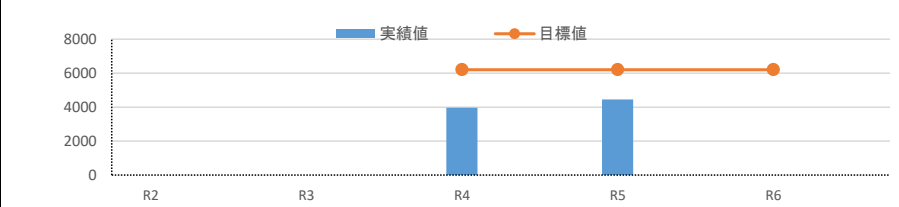
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
33	心豊かな子ども読書活動推進事業	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局（指導課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
圏域全体における児童生徒の読書啓発を図るため、圏域内の児童生徒から、学校図書館等の図書を対象にした読書感想文や読書新聞を募集し、コンクール形式で表彰する。	読書活動に親しみやすい環境及び豊かに表現する場の圏域全体での創出	C：やや遅れている（年度の目標値の50～75%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額			85	126	133	344	読書感想文及び読書新聞の応募数	目標値			6,200	6,200	6,200
決算額			73	123	-	196		実績値			3,964	4,446	-

役割分担	青森市	事業実施、各種事務手続、圏域町村との調整	連携状況グラフ
	連携町村	事業の周知、費用負担等	



進捗状況グラフのデータ:

年度	実績値	目標値
R2	0	6,200
R3	0	6,200
R4	3,964	6,200
R5	4,446	6,200
R6	-	6,200

成果	課題・問題点
令和4年度から、青森圏域連携中枢都市圏ビジョンに基づき、連携をスタートした。東津軽郡小・中学校からの応募は、令和4年度が5校32点だったものが、令和5年度は7校52点に増加した。また、東郡小学校児童が読書感想文小学校低学年部門において最優秀賞を受賞するなど、文化面での交流・深化の一助となっている。	応募総数が、目標値に達していないことから、今後も圏域内でさらなる連携を図り、読書の大切さやコンクールについて周知を図っていく。

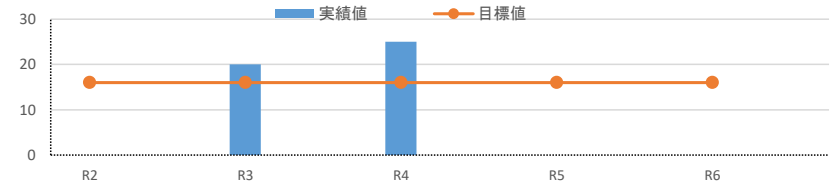
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
34	東青地区公民館連絡協議会事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局（中央市民センター）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
生涯学習機会の充実を図るため、会議での情報交換や研修等により公民館の適正管理や生涯学習に関する職員の資質向上を図る。	圏域住民の生涯学習機会の充実	D：遅れている（年度の目標値の50%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	38	34	38	40	14	164	研修等参加者数	目標値	16	16	16	16	16
決算額	30	0	30	30	-	90		実績値	0	20	25	0	-

役割分担	青森市	公民館の管理を適正かつ円滑に実施するための情報交換、研修等への参加等	進捗状況グラフ
	連携町村	事務手続きや企画、関係機関等との調整、情報交換、研修等への参加等	



成果	課題・問題点
新型コロナウイルスの影響により令和2年度の研修会は中止となったが、令和3年度及び4年度は研修会を実施し、それぞれ目標値を上回る参加者があった。令和5年度は事務局都合により研修会が中止となった。	研修への参加は、公民館相互の情報共有や公民館職員の資質向上に重要であることから、継続して研修会を実施する必要がある。

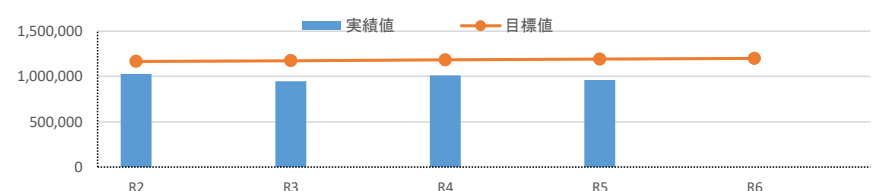
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
35	図書館相互利用事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局（市民図書館）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
図書館の利便性向上を図るため、圏域の図書館・図書室において、圏域住民に対し図書館等資料の貸し出し等のサービスを相互に提供する。	圏域住民の読書機会の増大	B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	126,853	126,607	125,949	147,458	148,602	675,469	年間貸出数	目標値	1,165,600	1,174,200	1,182,800	1,191,400	1,200,000
決算額	124,765	123,188	133,251	144,960	-	526,164		実績値	1,027,939	946,907	1,011,435	960,350	-

役割分担	青森市	事業の実施及び周知活動	進捗状況グラフ
	連携町村	事業の実施及び周知活動	



年度	実績値	目標値
R2	1,027,939	1,165,600
R3	946,907	1,174,200
R4	1,011,435	1,182,800
R5	960,350	1,191,400
R6	-	1,200,000

成果	課題・問題点
圏域住民が「青森県内図書館共通利用券」の提示なしに資料の貸出・予約等のサービスを利用可能とする相互利用事業を実施した。年間貸出数は、新型コロナウイルス感染症対策の臨時休館を実施したことにより、開館日数が少なかった期間があるため、減少傾向にあるが、いずれの年度も目標値の80%以上を達成しているところである。また登録者数も、令和5年度では165名となっており、連携協約の役割を概ね果たしている。	圏域住民の利用促進を図るため、図書館相互利用サービスの周知を引き続き行う必要がある。

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
36	青森圏域市町村連携第80回国民スポーツ大会PR事業	令和 5 年度 ~ 令和 6 年度	経済部（国スポ・障スポ大会推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
令和8年に青森県で開催される第80回国民スポーツ大会に向けた機運醸成やスポーツによる地域活性化を図るため、圏域市町村が連携し大会PRイベント等を実施する。	国民スポーツ大会に対する圏域住民の理解促進及び参加意欲の向上やスポーツによる地域活性化	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額				1,801	-	1,801	大会PR活動数	目標値				1	1
決算額				1,318	-	1,318		実績値				1	-

役割分担	青森市	イベントやキャンペーンでのPR	進捗状況グラフ
	連携町村	イベントやキャンペーンでのPR	

成果	課題・問題点
令和8年の第80回国民スポーツ大会の開催に向けた機運醸成を図るため、圏域住民の方を対象としたイベントを実施した結果、大会PR活動数は目標値と同じ1件となり、令和8年の開催に向けて圏域住民の理解促進及び参加意欲の向上に寄与するものとなった。	国民スポーツ大会のPRについては、県が令和6年度から新たに県内6圏域を対象に開催している「市町村広報・おもてなし担当者会議」を活用し、実施していくことを検討している。

NO.37 「東青地区中学校体育大会夏季大会開催事業」

NO.38 「東青地区中学校文化連盟活動事業」は

令和6年度からビジョン掲載のため、事業評価シートはなし

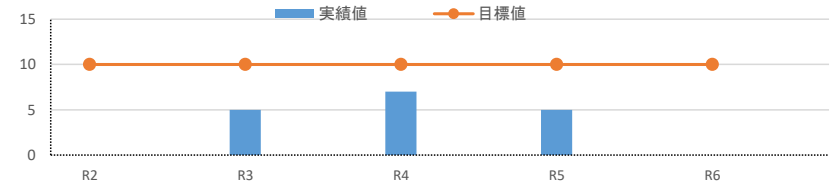
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
39	あおもりフィールドスタディ支援事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	経済部（経済政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
産学金官連携による地域経済活性化と若手リーダー人材の育成を図るため、経済活性化や産業振興等をテーマに、学生団体等が多様な主体と連携して行う地域課題の解決や将来の起業につながるフィールドスタディ（現地学習）を支援する。	地域課題の解決に若者が参画することによる地域の活性化	C：やや遅れている（年度の目標値の50～75%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	4,100	4,156	3,510	3,462	3,462	18,690	本事業を活用して学生団体等が実施した事業数	目標値	10	10	10	10	10
決算額	0	1,610	2,501	1,567	-	5,678		実績値	-	5	7	5	-

役割分担	青森市	事業実施、各種手続き、関係機関等との調整	連携状況グラフ
	連携町村	制度の広報活動（利用促進、参加呼びかけ等）、費用負担等	



成果	課題・問題点
令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業が中止となったが、令和3年度からは、若手リーダー人材の育成等を図るため、学生団体等が多様な主体と連携して圏域で実施する現地学習の支援について制度の広報活動等に取り組んできた結果、令和5年度に学生団体等が実施した事業数は目標値の10件には届かなかったものの、昨年度・一昨年度と概ね同程度の件数で推移しており、地域の活性化等に一定程度寄与するものとなった。	圏域の経済活性化と若手リーダー人材を育成するためには、圏域4町村と連携し、若者が起業を目指す機運の醸成が必要となる。

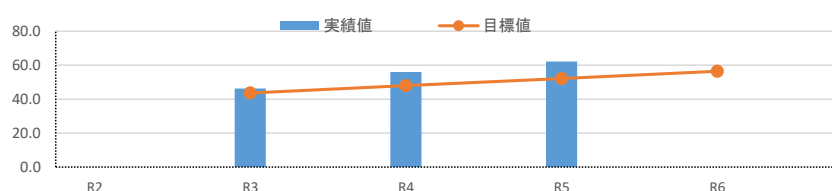
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
40	青森圏域重点事業要望事務	令和 3 年度 ~ 令和 6 年度	企画部（企画調整課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
圏域市町村のみでは解決が困難な事案や課題の解決に向け、圏域単位で重点要望として取りまとめ、県に対する説明会等を通じて、その実現に向けた協力を要請する。	共通の行政課題として提案することによる発言力の向上	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額		68	68	62	59	257	要望事項実現率	目標値		43.6	47.9	52.1	56.4
決算額		28	34	26	-	88		実績値		46.2	56.0	62.1	-

役割分担	青森市	重点要望事業の取りまとめ、説明会等への出席	進捗状況グラフ
	連携町村	重点要望事業提出への協力、説明会等への出席	



成果	課題・問題点
県への要望事項について、令和5年度も目標値を達成していることから、圏域市町村のみでは解決が困難な事案や課題の解決が図られていると判断できる。	今後においても、解決困難な事業や課題を要望として重点事業要望として取りまとめ、引き続き県に対して働きかけていくこととしている。

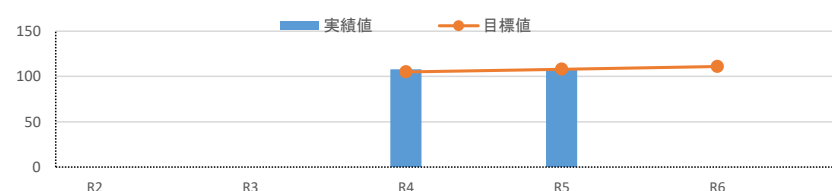


青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
41	地域花いっぱいまちづくり事業	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度	都市整備部（公園河川課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
圏域内の各市町村において地域色豊かな緑化活動を推進していくため、公園緑地などに花植えをする団体に対し、花苗等資材の提供などを行う。	圏域全体における地域づくりの推進	B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額			2,435	2,406	2,405	7,246	花苗等提供団体数及びフラワーロード参加団体数	目標値			105	108	111
決算額			2,344	2,309	-	4,653		実績値			108	107	-

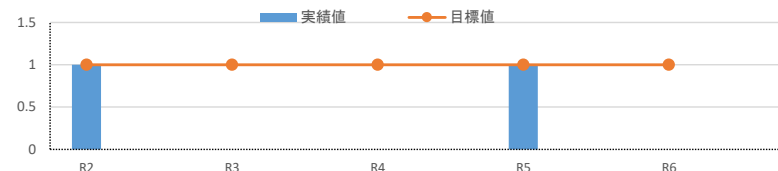
役割分担	青森市	申請受付、支給に係る一連の作業、圏域町村との調整等	<p>進捗状況グラフ</p> 
	連携町村	対象場所の選定、団体への支援、広報、費用負担等	
<p>外ヶ浜町からの成果・期待コメント</p> <p>R5年度も前年に引き続き延べ5団体が当該事業を利用し、緑化活動を実施した。地域の景観へ良い影響をもたらしつつ共同作業による地域コミュニティの活性化にも繋がるため、有用な事業だと考える。</p>			

成果	課題・問題点
令和4年度より、圏域内の各市町村において地域色豊かな緑化活動を推進していくため、公園緑地などに花植えをする団体に対し、花苗等資材の提供などを行っている。初年度である令和4年度は、参加団体数が目標値105団体に対し108団体の実績であり、目標値を上回ったところであるが、令和5年度は目標値108団体に対し107団体の実績となっている。参加団体数は微減したものの、一定数の参加団体は確保できており、圏域内における緑化活動の推進は概ね順調である。	参加団体及び参加者の高齢化や固定化により、参加団体数の減少が懸念される。 資材価格の上昇により、提供数の減少が懸念される。

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
42	水道事業の広域連携事業	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	水道部（総務課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況		
圏域における水道工事の技術水準の維持向上及び経営効率化のため、災害訓練や指定業者研修会の共同開催、平時・緊急時の水質管理等を一体的に行う。							災害時に対応する体制の強化				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）		
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	1,465	4,710	9,560	8,742	8,750	33,227	災害訓練の共同開催回数	目標値	1	1	1	1	1
決算額	1,464	4,710	8,559	8,741	-	23,474		実績値	1	0	0	1	-
役割分担	青森市	圏域における水道工事の技術水準の維持向上及び経営効率化の推進					進捗状況グラフ						
	連携町村	同上											



成果	課題・問題点
<p>水道事業の広域連携事業については、東青地区5市町村での会議（東青地区会議）を通し、継続して広域連携に取り組み、圏域における水道工事の技術水準の維持向上及び経営効率化が図られた。</p> <p>具体的には、災害訓練については令和3年度及び令和4年度中止したものの、令和5年度に再開したほか、給水装置関連や水質管理関連の分野においても段階的な連携を進めてきた。</p> <p>&lt;連携項目&gt;</p> <p>(1)災害対策関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①災害訓練等の共同開催（R2年度は平内町で開催、R3・4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止、R5年度は今別町で開催、R6年度は外ヶ浜町で開催予定）</li> <li>②民間事業者との災害時応援協定の広域化（R6年度は調整を継続）</li> </ul> <p>(2)給水装置関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施工基準の統一化（R2.10月から本格運用開始）</li> <li>②指定業者研修会の共同開催（R4年度から毎年2月に青森市で開催）</li> </ul> <p>(3)水質管理関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①維持管理上の水質管理の連携 （R2から蓬田村、R3から今別町、R4から外ヶ浜町の水質管理業務を受託）</li> <li>②緊急時等の水質維持対応の連携（R2年度から連携を開始）</li> </ul>	<p>青森県水道広域化推進プランに基づく検討（事務の広域的処理、施設の共同設置・共同利用、経営の一体化、事業統合）を進めるとともに、3分野以外の連携可能な分野についても拡大が図れるよう、今後も東青地区会議を通して広域化を推し進めていく必要がある。</p> <p>このプランにおいて、特に広域化効果が大きいと見込まれる「経営の一体化」及び「事業統合」については、国土交通省の交付金を最大限に活用できる期間を考慮し、令和6年度までに東青地区会議において一度結論を出す必要がある。</p>

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
43	自主防災活動促進事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	総務部（危機管理課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
圏域の各地域における自主防災活動を推進するため、圏域職員及び自主防災組織のリーダー等を対象に、災害や防災に係る情報共有及び課題解決に向けた意見交換を行う会議等を開催する。	圏域の防災体制の向上	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	-	19	19	19	19	76	会議等参加者数	目標値	10	10	10	10	10
決算額	-	0	0	0	-	0		実績値	0	5	14	41	-

役割分担	青森市	会議等の企画、実施	進捗状況グラフ
	連携町村	事業への参画、協力	

年度	目標値	実績値
R2	10	0
R3	10	5
R4	10	14
R5	10	41
R6	10	-

成果	課題・問題点
令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、令和4年度・5年度は目標値を達成し、順調に推移しており、圏域の防災体制向上の一助となっている。	圏域のさらなる防災体制向上につなげるため、災害や防災に係る情報共有及び課題解決に向けた会議等の開催を継続して行っていく必要がある。

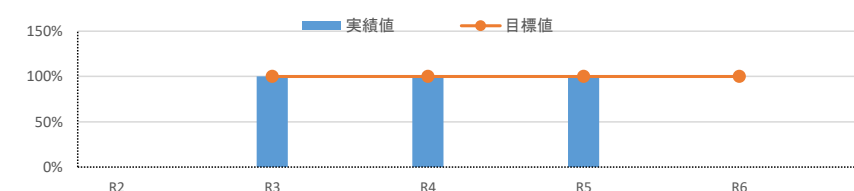
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
44	国土強靱化連携推進事業	令和 3 年度 ~ 令和 6 年度	都市整備部（都市政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
青森圏域全体において、住民の命を守ることを最優先に、大規模自然災害が発生しても機能不全に陥らず、迅速な復旧・復興が可能な地域づくりに向け、青森圏域5市町村国土強靱化地域計画に基づく取組を実施する。	圏域全体における強靱な地域づくりの推進	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額		-	-	-	-	-	事業の地域計画への掲載率	目標値		100%	100%	100%	100%
決算額		-	-	-	-	-		実績値		100%	100%	100%	-

役割分担	青森市	計画の策定及び推進、関係町村との調整	進捗状況グラフ
	連携町村	計画の策定及び推進	



年度	実績値 (%)	目標値 (%)
R2	-	100%
R3	100%	100%
R4	100%	100%
R5	100%	100%
R6	100%	100%

成果	課題・問題点
令和2年12月に青森圏域5市町村国土強靱化地域計画を策定し、国の支援内容や本市の予算を踏まえ、当該計画に基づく事業の追加等を行うことにより、当該計画への掲載が国の交付金等「重点化」「要件化」の条件となっている事業を全て掲載している。	「重点化」等の国の支援対象となるためには、国土強靱化に係る補助金や交付金を活用する取組が、地域計画に基づく取組であること又は地域計画に明記された事業であることが求められている。そのため、青森圏域5市町村国土強靱化地域計画に基づく取組の着実な実施に向け、国の支援の状況を注視しながら、国土強靱化に係る補助金や交付金を活用して新たに実施する事業については「青森圏域5市町村国土強靱化地域計画」の事業一覧に追加するなど、必要な取組を継続する必要がある。

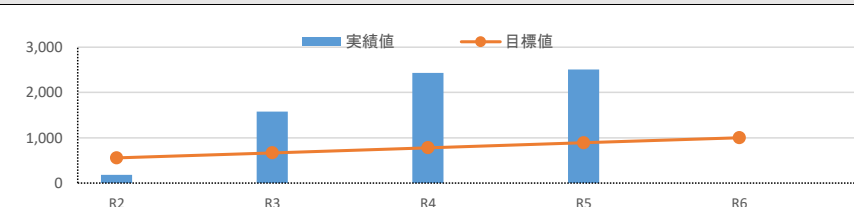
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
45	むつ湾広域連携事業（環境）	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	環境部（環境政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
陸奥湾の良好な水質環境の維持のため、陸奥湾沿岸市町村と圏域の活動団体が一体となって環境保全活動を推進する。	陸奥湾の環境保全	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	2,119	2,049	2,195	2,479	1,478	10,320	環境保全活動の参加者数	目標値	556	667	778	889	1,000
決算額	75	787	1,757	2,095	-	4,714		実績値	180	1,577	2,434	2,508	-

役割分担	青森市	協議会事業の全体調整、費用負担や各部会での事業企画、実施	進捗状況グラフ
	連携町村	協議会への参画、費用負担	



年度	目標値	実績値
R2	556	180
R3	667	1,577
R4	778	2,434
R5	889	2,508
R6	1,000	-

成果	課題・問題点
陸奥湾の環境保全を図るため、本市のみならず沿岸市町村や活動団体と一体となり、むつ湾フォーラムの開催、清掃活動や陸奥湾沿岸漂着物調査等を実施してきた。環境保全活動の参加者数は年々増加しており、市民の環境保全意識が高まっている。	環境保全活動の参加者数は現在のところ目標を達成している状況ではあるが、これが維持できるよう今後も陸奥湾の良好な水質環境の維持のため、沿岸市町村や活動団体と一体となり、陸奥湾の環境保全に関する取組の推進と環境保全意識を高めるための意識啓発を行っていく必要がある。

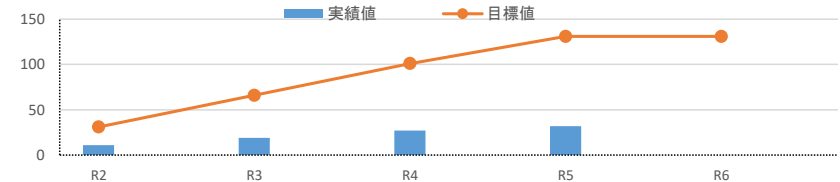
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
46	協働による環境教育・環境学習事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	環境部（環境政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
地球温暖化や陸奥湾等に関する環境保全の意識醸成のため、幼児等を対象に、NPOなどの市民団体等と協働して環境学習機会等を提供する。	地球温暖化防止、環境保全のための意識醸成	D：遅れている（年度の目標値の50%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	3,482	869	870	870	870	6,961	むつわんかるたを用いた環境学習実施箇所数	目標値	31	66	101	131	131
決算額	2,956	866	866	839	-	5,527		実績値	11	19	27	32	-

役割分担	青森市	主体的な事業実施、各種事務手続き、関係機関等との調整等	進捗状況グラフ
	連携町村	各町村における周知活動、関係機関との調整、費用負担等	



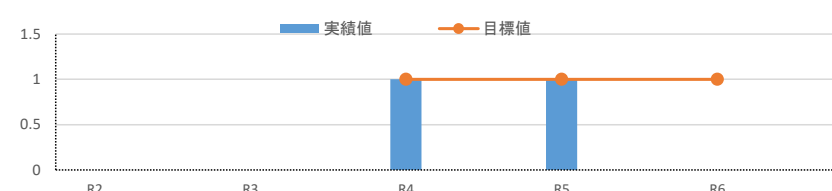
成果	課題・問題点
<p>「むつわんかるた」を活用した出前授業については、第1期（R2～R6）の期間内に、圏域内131か所の全保育所等で1回は実施することを目標としているが、令和2年度に圏域内の全保育所等に「むつわんかるた」を配付しており、出前授業を実施しなくとも、自ら「むつわんかるた」を活用して環境教育を行っている保育所等もあるため、令和5年度時点における目標達成状況は、圏域内131か所の保育所等のうち、32か所にとどまり、目標達成には至っていない。</p> <p>しかしながら、幼児だけではなく、児童を対象とした出前授業や、イベントへの出展等による「むつわんかるた」普及に関する事業を実施することで、毎年度の出前授業等の実施回数は、令和2年度が11か所、令和3年度が20か所、令和4年度が37か所、令和5年度が35か所と、増加傾向にあり、当該事業の目的である「地球温暖化や陸奥湾等に関する環境保全の意識醸成」については、着実に進めることができている。</p>	<p>幼児等を対象とした「むつわんかるた」を活用した出前授業について、令和2年度に圏域内の全保育所等に「むつわんかるた」を配付していることから、自ら「むつわんかるた」を活用した環境教育を行っている保育所等もあるが、出前授業では、「むつわんかるた」を活用した環境啓発のほか、DVDや紙芝居によるむつ湾の環境保全の啓蒙活動も含まれているため、今後も引き続き、未実施の保育所等に対し、当該事業を活用していただくよう周知に努めることが重要となる。</p>

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
47	森と湖に親しむ集い事業	令和 4 年度 ～ 令和 6 年度	都市整備部（公園河川課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
森や川の役割について関心を持つことや、自然保護の意識醸成のため、圏域内の各市町村の次世代を担う小学生を対象に、ダム施設等の体験学習の機会を提供する。	圏域全体における自然保護意識の醸成	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額			197	276	348	821	ダム見学回数	目標値			1	1	1
決算額			88	243	-	331		実績値			1	1	-

役割分担	青森市	体験学習する小学校の選定・依頼、バスの賃貸借契約等、関係機関等との連絡調整	進捗状況グラフ					
	連携町村	体験学習する小学校の選定・依頼、バスの賃貸借契約等、関係機関等との連絡調整						

成果	課題・問題点
<p>平成元年度から青森森林管理署、青森県、青森市の3者共同で実施してきた本事業を、令和4年度から青森圏域連携中枢都市圏事業に位置付け、圏域内の各町村と連携を図りつつ事業を実施してきた。</p> <p>本市においては令和4年度・令和5年度ともに1回ずつ実施、平内町・今別町においても令和5年度に実施し、参加した小学生の、森や川の役割への関心が深まり、自然保護の意識醸成が図られた。</p>	<p>圏域全体における自然保護意識の醸成には、引き続き圏域内の各市町村と連携し、継続的に事業を実施する必要がある。</p>

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
48	汚水等処理事業	令和 5 年度 ~ 令和 6 年度	環境部（清掃管理課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
陸奥湾の自然環境の保全を図るため、圏域の汚水等※について、広域的集約処理による、汚水処理事業の効率化に取り組む。 ※し尿及び浄化槽汚泥・農業集落排水汚泥	圏域全体における自然環境保全の推進	B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額				514,472	519,865	1,034,337	生活排水処理率	目標値				79.4	80.6
決算額				462,141	-	462,141		実績値					78.7

役割分担	青森市	青森地域広域事務組合と調整、費用負担	進捗状況グラフ
	連携町村	青森地域広域事務組合と調整、費用負担	

成果	課題・問題点
圏域内5市町村の汚水等処理に係る取組の情報共有や、人口減少下においても汚水等処理体制の充実と効率的な処理を行うことへの問題意識の共有化が図られたことにより、圏域内5市町村で構成される青森地域広域事務組合による汚水等処理施設の管理運営が効率的に行われ、圏域住民の生活環境の向上と地域の自然環境の保全のための持続可能かつ適正な汚水等処理体制が構築されている。	圏域住民の生活環境の向上と地域の自然環境の保全のため、引き続き、青森地域広域事務組合と汚水等の効率的な処理に取り組む。



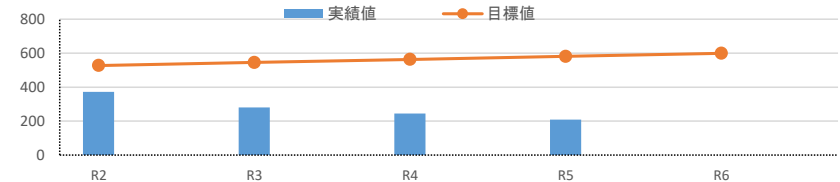
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
49	あおり新しい働き方支援事業（Uターン就職支援）	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	経済部（経済政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
○進学・就職等で流出した人材還流促進のため、圏域内企業の人材確保を支援するとともに、圏域へのUターン就職希望者やリモートワーク人材等に地元の企業情報の発信等を行う。	圏域への人材の還流促進	D：遅れている（年度の目標値の50%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	8,642	8,057	8,282	8,418	7,363	40,762	Uターン就職等に関する相談件数	目標値	527	545	563	581	599
決算額	6,076	5,887	9,476	4,253	-	25,692		実績値	372	280	244	209	-

役割分担	青森市	主体的な事業実施、各種事務手続き、関係機関等との調整等	進捗状況グラフ
	連携町村	各町村における周知活動、関係機関との調整、費用負担等	



成果	課題・問題点
令和2年度に「Uターン就職支援事業」として、令和3年度から「あおり新しい働き方支援事業」として圏域への移住希望者に対する就職支援等に取り組んできた結果、首都圏で実施したイベント等での相談者が想定よりも少なかったものの、209件の実績があり、圏域への人材還流促進に一定程度寄与するものとなった。	人口減少が進む中、進学・就職等で流出した人材の還流を促進を図るためには、生活圈や経済圏が密接に結びつく圏域4町村と連携し、圏域全体でのUターン就職支援活動の強化が必要となる。

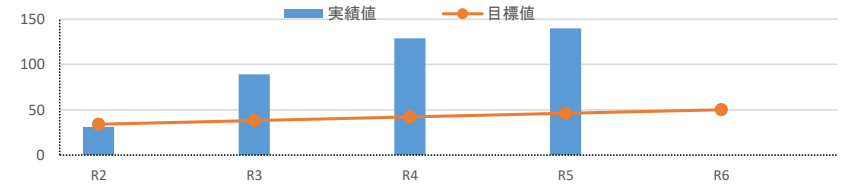
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
50	新しい働き方担い手誘致・東青地域移住促進事業	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	企画部（連携推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
首都圏などに居住し、圏域への移住を希望する移住ニーズへの確に対応していくため、SNSを活用した圏域の情報発信、首都圏での移住相談会等の開催や圏域での移住、ワーケーション体験などを実施する。	圏域外への情報発信及び圏域への移住促進	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	4,262	5,110	25,686	31,270	24,964	91,292	圏域内への移住者数	目標値	34	38	42	46	50
決算額	796	931	12,219	16,297	-	30,243		実績値	31	89	129	140	-

役割分担	青森市	移住相談会等の企画、実施、各種事務手続き、関係機関等との調整	進捗状況グラフ
	連携町村	移住相談会等への参加、パンフレット・情報提供、広報活動、費用負担等	



成果	課題・問題点
圏域への移住者や関係人口の拡大に関する取組を連携して行うため、令和3年1月に東青地域移住・交流サポート協議会を設立し、SNSを活用した圏域の情報発信、首都圏での移住相談会等の開催、圏域での移住体験やワーケーション体験、新しい働き方移住支援金交付について、圏域で連携し取組を進めてきた。これにより、圏域への移住者数は令和5年度時点で140人と目標を大きく上回っている。	圏域内への移住者数は増加傾向にあり目標を達成している状況であるが、圏域の人口は減少傾向となっていることから引き続き移住者の増加に向けた取組を行って行く必要がある。

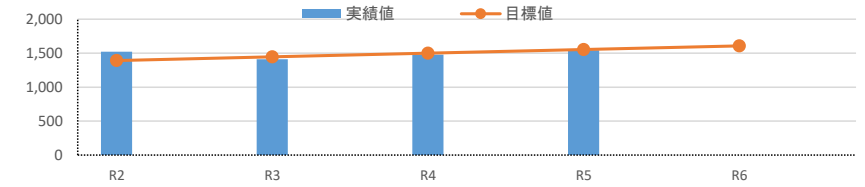
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
51	消費生活相談事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	市民部（生活安心課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
消費生活トラブルや多重債務で悩みを抱えている圏域住民救済のため、青森市民消費生活センターにおいて消費生活相談及び多重債務相談を実施する。	圏域住民の消費者被害の抑制	B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	13,890	13,947	13,960	14,083	15,061	70,941	相談件数	目標値	1,391	1,445	1,499	1,553	1,607
決算額	13,889	13,599	13,958	14,082	-	55,528		実績値	1,521	1,409	1,480	1,541	-

役割分担	青森市	主体的な事業実施	進捗状況グラフ
	連携町村	費用負担、周知及び広報活動	



成果	課題・問題点
住民からの消費生活に関する相談に適切な対応が出来るよう、東青地域の市町村が連携し、青森市民消費生活センターにおいて消費生活相談を行うことで、相談件数は目標値を概ね達成しており、そのうち圏域町村からの相談件数は、延べ141件（令和2年度：48件、令和3年度：22件、令和4年度：34件、令和5年度：37件）となっているところであり、住民サービスの向上及び圏域住民の消費者被害の抑制が図られている。	スマートフォン等の携帯端末の普及に伴い、幅広い年齢層において、インターネット通販やSNSに関するトラブルが増加しており、また高齢者を狙った「特殊詐欺」や「悪質商法」による被害も後を絶たないなど、消費者被害の手口は年々悪質化、巧妙化していることから、消費者トラブルの解決に向けて引き続き、圏域住民に対する青森市民消費生活センターの周知を行っていく必要がある。

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
52	東青地域男女共同参画ネットワーク事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	市民部（人権男女共同参画課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
圏域の情報共有を図るため、圏域内市町村が東青地域男女共同参画ネットワーク（圏域内における団体及び個人で構成）と連携し、男女共同参画を推進するため会議や学習会を実施する。	男女共同参画に関する活動をサポートするための連携強化	C：やや遅れている（年度の目標値の50～75%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	-	-	-	3	1	4	会議等開催回数	目標値	3	3	3	3	3
決算額	-	-	-	0	-	0		実績値	3	3	2	2	-

役割分担	青森市	事業実施（合同会議、学習会の実施等）	進捗状況グラフ
	連携町村	事業実施（合同会議、学習会の実施等）	

年度	実績値	目標値
R2	3	3
R3	3	3
R4	2	3
R5	2	3
R6	0	3

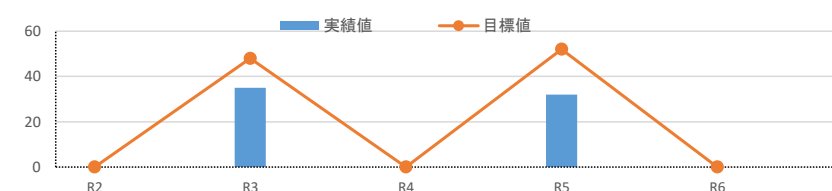
成果	課題・問題点
年3回の実施を目標としている会議や学習会等について、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等の理由により学習会が中止となり、目標を達成できない年度もあった。しかしながら、事業実施の主体となる市町村を輪番制とすることや、東青地域男女共同参画ネットワークと連携し、サポートを受けたことにより、事業期間内に各市町村において男女共同参画に関する事業を実施できたことから、東青地域全体の男女共同参画の推進に寄与しているものとする。	引き続き、男女共同参画を推進するための事業を実施していくため、より一層圏域内市町村及び東青地域男女共同参画ネットワークとの連携を強化し、相互協力を図る必要がある。

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
53	成年後見制度法人後見支援事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部（障がい者支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
<p style="text-align: right; background-color: #4a90e2; color: white; padding: 2px;">隔年事業</p> <p>知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分でないかたに対して財産管理等の支援を行い、その権利を守るため、法人後見の人材育成及び活用を図るための研修を実施する。</p>	圏域の法人後見の人材育成	C：やや遅れている（年度の目標値の50～75%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	-	207	-	186	-	393	修了者数	目標値	0	48	0	52	0
決算額	-	123	0	123	-	246		実績値	0	35	0	32	-

役割分担	青森市	研修開催	<p>進捗状況グラフ</p> 
	連携町村	周知活動	

成果	課題・問題点
<p>本事業は令和2年度から青森圏域連携中枢都市圏の事業として実施し、これまでに、社会福祉法人等を対象に法人後見の人材育成及び活用を図るための研修を2回実施した。研修には連携町村に所在する法人等の参加も見られ、成年後見人を担う人材等の育成に寄与しているものとする。</p>	<p>目標値に対して実績が7割に満たない状況となっていることから、連携市町村においてより積極的に周知を図る必要があるとともに、研修修了法人等が実際に成年後見人として活動するために必要な内容についても、より実践に即した内容を研修に盛り込んでいく必要がある。</p>

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
54	除排雪力向上連携ネットワーク形成事業	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度	都市整備部（道路維持課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
豪雪災害時においても、圏域内の各市町村において住民生活の維持及び道路交通の確保ができるよう、連携して除排雪作業ができる体制の構築を目指し、除排雪力の向上に資する取組（除排雪オペレーター講習会）や情報共有を行う。	雪に強く快適で安全な地域づくりの推進	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額			363	1,165	1,163	2,691	講習会の実施回数	目標値			1	1	1
決算額			179	130	-	309		実績値			2	1	-

役割分担	青森市	事業の企画、運営	連携状況グラフ
	連携町村	課題等の情報提供等	

年度	実績値	目標値
R4	2	1
R5	1	1
R6	0	1

成果	課題・問題点
<p>令和4年度より、青森圏域の除排雪事業を受託する事業者及び行政職員を対象に、運転技術及び安全意識の向上を目的とした除排雪オペレーター講習会を開催し、圏域の除排雪力の向上を図った。</p> <p>令和5年度からは、除排雪作業の担い手となる除雪オペレーターの育成に係る技能講習等の費用の一部を負担する、除雪オペレーター担い手育成支援事業の連携事業化を行った。</p>	<p>除雪オペレーター育成支援事業補助金について、他町村の申込件数が少ないことから、事業の周知機会を増やすことなどにより、制度の利用を促す必要があると考えられる。</p>

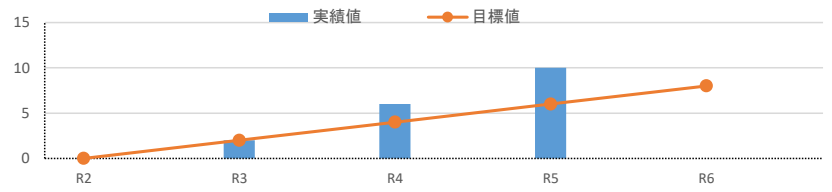
青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
55	職員人事交流	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	企画部（総務部）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
様々な行政課題の解決や圏域職員の資質向上のため、人事交流を促進する。	他市町村職員との交流による資質の向上及び連携意識の醸成	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	-	11,881	21,365	25,600	11,704	70,550	人事交流人数 (累計)	目標値	0	2	4	6	8
決算額	-	12,712	22,339	25,638	-	60,689		実績値	0	2	6	10	-

役割分担	青森市	必要となる人事交流分野における派遣・受入に係る事務手続き等	進捗状況グラフ
	連携町村	必要となる人事交流分野における派遣・受入に係る事務手続き等	



成果	課題・問題点
<p>令和5年度時点においては目標値を160%以上達成している。また、派遣職員からは異なる環境での業務経験は有意義であったとの声が多くあり、職員の人材育成に寄与しているものと考えられる。</p> <p><b>【市→町村派遣職員所感】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市よりも広い領域の業務を体験できたことや徴収方法の違いなどを知ることができた。職場環境がよく働きやすかった。人事交流を通じて、気軽に情報交換できるようになり、今でも続いている。</li> <li>業務の裁量が大きく、スピード感があり、責任感を養うことができた。働き方や事務処理方法など市との違いを客観的な視点で見ることができた。</li> </ul> <p><b>【町村→市派遣職員所感】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口規模・事務量が異なるが、町村では体験しない事務も経験でき、一つ一つの業務において、深く学ぶ機会が多く有意義であった。</li> </ul>	<p>切れ目なく円滑な人事交流を実施するため、圏域職員の受入れ及び市職員の派遣にあたっては、希望する部署の業務内容・職場環境の情報共有を十分に行うこと、また、受入れ後も派遣職員への負荷がかかりすぎないように、職場内でのサポートや派遣職員の能力が発揮できる環境づくりが必要である。</p>

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
56	職員研修	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	総務部（人事課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
圏域職員の資質向上のため、共通する職員研修の一部を合同開催する。	合同開催による効率化（経費負担の軽減）	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	975	975	825	1,091	1,053	4,919	合同研修開催回数	目標値	1	1	1	1	1
決算額	651	695	681	870	-	2,897		実績値	4	3	3	4	-

役割分担	青森市	事業の企画及び運営（事務手続き、関係機関等との連絡調整、資料の準備等）	進捗状況グラフ										
	連携町村	連絡調整、費用負担等											

成果	課題・問題点
職員研修の一部への参加を本格的に開始した令和2年度から、毎年度、目標値以上の成果を上げており、令和6年度時点においては目標値を大きく上回っている。	今後は、連携中枢都市圏の参加者に対しても受講後のアンケートを実施し、アンケート結果を参考としてより魅力的かつ効果的な研修を実施していきたい。



青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
57	R P A 活用推進事務	令和 5 年度 ~ 令和 6 年度	総務部（情報政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
職員が専門的知識を要する業務等を行う環境創出をするため、RPAの活用について、課題等の共有と事例研究や技術トレンドの把握等を行うための連絡会を開催し、RPAの活用を推進する。	圏域でのRPA活用に係る人材育成及びRPA活用の推進	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額				5,094	5,212	10,306	RPA活用推進担当 連絡会開催数	目標値				1	1
決算額				4,100	-	4,100		実績値				1	-

役割分担	青森市	連絡会の準備・開催、圏域町村等との調整	進捗状況グラフ
	連携町村	事業への参画、協力、圏域町村等との調整	

年度	実績値	目標値
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0.8	1.0
R6	0	1.0

成果	課題・問題点
令和5年度に初めて開催した連絡会では、青森圏域連携中枢都市圏の各自治体が個別に実施しているRPAの導入状況や課題についての意見交換、RPAツールの体験を行い、圏域の自治体職員へRPA導入についての動機付けを行った。	圏域全体でより一層のRPA活用推進を図るために、RPA活用に係る人材の育成が必要となっている。